



**USER'S
MANUAL**

FAST ETHERNET PRINT SERVER

Max300

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

USER'S MANUAL

FAST ETHERNET PRINT SERVER

Max300

本製品を安全にお使いいただくために

⚠ 警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



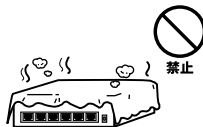
正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。



タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。



電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



液体・異物は入れないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、誤動作したりする可能性があります。

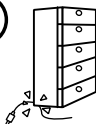
万一異物や液体が入ってしまった場合は、電源コードをコンセントから外して弊社サポートセンターまでご連絡ください。



電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

- ◇コードの上に物を載せない
- ◇熱源の側にコードを置かない
- ◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する
(かじった部分からショートし発火する危険があります)



設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

- ・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
- ・直射日光のあたる場所
- ・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
- ・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所
- ・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
- ・腐食性のガスが発生する場所



◎おねがい

本製品のお手入れ

- ・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
- ・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

必ずお読みください

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

ご使用方法

第2章 ハードウェアインストール

本製品の設置方法およびネットワーク、プリンターへの接続方法について説明します。必ずお読みください。

第3章 設定

ユーティリティソフトウェア、Max Managerやウェブブラウザ、Telnetの各項目の説明をします。

第4章 OS別インストールの概要

標準的な5種類のネットワーク環境について、プリントサーバのインストール概要を、例をあげて説明します。

第5章 Maxの追加機能編

通常機能の他にいくつかの追加機能が装備されています。本章では、追加された機能の概略について説明します。

付録

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな？」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B 仕様

本製品の製品仕様です。

《マニュアル内の表記について》

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。
区別が必要な場合は製品型番で表記します。

目次

第1章	はじめに	
	1. 概要	8
	2. 特長	9
	3. 梱包内容の確認	9
	4. 各部の名称	10
第2章	ハードウェアインストール	
	1. 設置場所について	14
	2. プリンタへの接続	15
	3. ネットワークへの接続	16
	4. 電源の接続	17
第3章	設定	
	1. Max Manager	18
	2. ブラウザ	37
	3. Telnet	50
第4章	OS別インストールの概要	
	1. Windows95/98/98 SE/Me編	52
	1-a プロトコルのインストール	52
	1-b プリンタの設定 (TCP/IP,IPX/SPX,NetBEUI共通)	65
	2. Windows NT/2000編	74
	2-a Windows NTプロトコルのインストール	74
	2-b プリンタの設定 (TCP/IP,IPX/SPX,NetBEUI共通)	88
	2-c Windows 2000プロトコルのインストール	100
	2-d プリンタの設定 (TCP/IP,IPX/SPX,NetBEUI共通)	113
	3. NetWare	131
	3-a Auto Setupでの設定	132
	3-b Manual Setupでの設定	133
	3-c クライアントPCの設定	134
	4. Mac OS編	136
	5. UNIX編	140
第5章	Maxの追加機能	
	1. 各機能について	146
付録A	トラブルシューティング	166
付録B	仕様	170

※ 記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

1. 概要

Max300は、IEEE802.3u 100BASE-TX、IEEE802.3 10BASE-T規格に準拠したコンパクトタイプのファスト・イーサネット・プリントサーバです。プリンタと接続できるD-SUB25ピン・パラレルポートを3ポート装備し、100BASE-TX/10BASE-Tネットワーク接続用のRJ-45 STPポートを1ポート装備しています。また、Max300はTCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、AppleTalkプロトコルに対応しており、Windows 95/98/98 SE/Me、Windows NT/2000、Mac OS、NetWare、UNIXなど幅広いネットワーク環境で簡単にプリンタの共有を行うことが可能です。また、Windows対応の設定ユーティリティが付属しており簡単に設定を行うことが可能です。

注意

一部の双方向通信対応のプリンタでは正常に印刷できない場合があります。この場合はプリンタの双方向通信が無効になるように設定してください。設定方法についてはご使用のプリンタのマニュアルを参照してください。対応プリンタについての情報は弊社ホームページ(<http://www.planex.co.jp/>)をご覧ください。

Mac OSから印刷するためには、プリンタが「PostScript」に対応している必要があります。PostScript対応以外のプリンタはMac OSからは印刷することができませんのでご注意ください。

2. 特長

IEEE802.3u 100BASE-TX、IEEE802.3 10BASE-T規格に準拠
100BASE-TX/10BASE-T接続用のRJ-45 STPポートを1ポート装備
プリンタと接続可能なD-SUB25ピン・パラレルポートを3ポート
装備

TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、AppleTalkプロトコルに対応

LEDによりプリントサーバのステータスの確認が可能

フラッシュROM搭載によりファームウェアのアップデートが可能

Windows 95/98/98Second Edition/Me、Windows NT/2000、
NetWare 3.X/4.X/5X(バインダリーとNDS)に対応

SNMP対応

DHCP(クライアント)

IPP「Internet Printing Protocol」対応

AppleTalk使用時、バイナリーモードサポート

Telnet対応

HP Web Jet Admin/Jet Admin対応

3. 梱包内容の確認

パッケージには、以下の付属品が含まれます。

Max300本体

ドライバ&ユーティリティCD-ROM

AC電源アダプタ

ショートコード

このユーザーズ・マニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

4. 各部の名称

上面

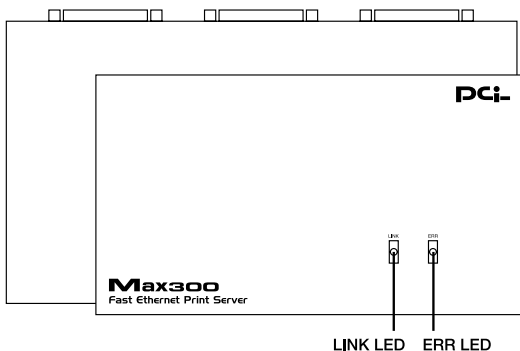


図1-1 Max300上面図

<LINK LED>

プリントサーバに電源が入ると点灯します。プリントサーバのステータスを表します。ネットワークデータの転送中およびプリンタへ印刷中は点滅します。

<ERR LED>

プリントサーバにエラーが発生時に点灯します。

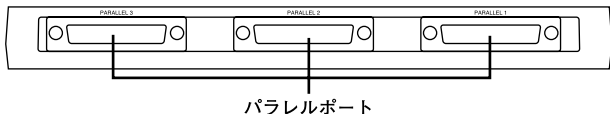


図1-2 Max300背面図

<パラレルポート>

プリンタケーブルを使用し、コンピュータのパラレルポートと接続するセントロニクスパラレルポートです。

側面図

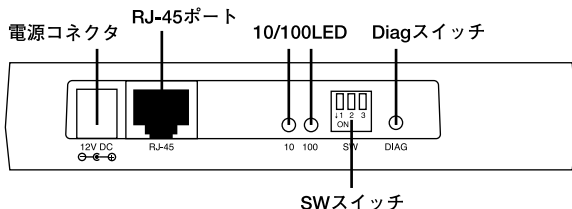


図1-3 Max300側面図

< 100 LED >

100BASE-TXで接続した場合、点灯します。

< 10 LED >

10BASE-Tで接続した場合、点灯します。

< SWスイッチ >

RJ-45ポート用の固定接続の設定ができます。

< Diagスイッチ >

プリントサーバをデフォルト設定に戻すスイッチです。

< RJ-45ポート >

ネットワークへ接続するためのツイストペアケーブル接続用のRJ-45ポートです。

< 電源コネクタ >

AC電源アダプタを接続します。

ハードウェアインストール

1. 設置場所について

プリントサーバを設置する際には必ず以下の点をお守りくださいますようお願いいたします。

湿気の多い場所に設置しないでください。

チリやほこりの多い場所には設置しないでください。

直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しないでください。

内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空けてください。

2. プリンタへの接続

プリンタの平行ポートとプリントサーバのD-SUB25ピンセントロニクスポートをDOS/V用プリンタケーブルで接続してください。

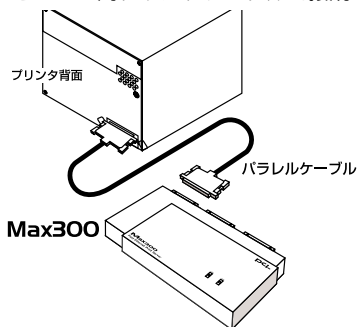


図2-1 プリンタの平行ポートとMax300の接続

⚠ 注意

双方向通信にする場合は全結線のパラレルケーブルを使用してください。

3. ネットワークへの接続

1. ツイストペア・ストレート・ケーブルの一端をプリントサーバのRJ-45ポートに接続してください。
2. ツイストペア・ストレート・ケーブルのもう一端を100BASE-TX/10BASE-Tハブの空いているRJ-45ポートに接続してください。

⚠ 注意

Max300をハブに接続する場合、接続するポートはハブの通常ポートにストレートケーブルを使用して接続してください。Uplinkポートやカスケード用ポートに接続すると認識できませんのでご注意ください。

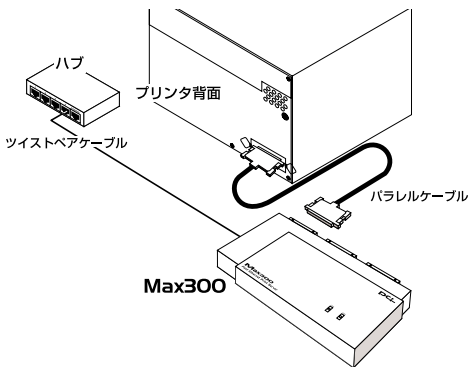


図2-2 ハブとMaxの接続

4. 電源の接続

1. プリントサーバ側面の電源コネクタに付属のAC電源アダプタを接続します。
2. AC電源アダプタをAC100Vコンセントに接続します。
3. プリントサーバ上面のLink LEDが点灯することを確認してください。
4. 電源が入るとプリントサーバは自動的に自己診断テストを実行します。自己診断の時にLink LEDが数回点滅した後、点灯します。もし、Err LEDが点灯した場合は本体の故障が考えられます。この場合は弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

注意

AC電源アダプタは必ず付属のものを使用してください。付属以外のAC電源アダプタの使用は、製品の故障、誤動作等の原因となります。付属以外のAC電源アダプタを使用した場合の故障は保証の範囲外となります。

設 定

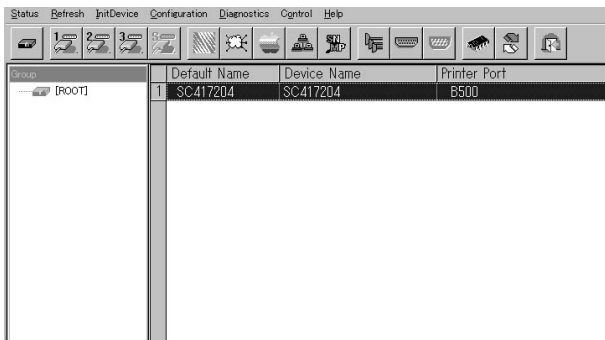
本章ではユーティリティソフトウェア、Max Managerやウェブブラウザ、Telnetの各項目の説明をします。

1. Max Manager

ソフトウェアのインストール

1. CD-ROMドライブに「ドライバ&ユーティリティCD」ラベルのついたCD-ROMをセットしてください。
2. 「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行」を選択してください。
3. 名前の欄に d : ¥ Utility/Max__Manager/setup.exe (CD-ROMドライブがDドライブの場合) と入力し [OK] ボタンをクリックしてください。
4. インストールのセットアップ画面が表示されますので、画面の指示に従ってください。

「Max Manager」を起動すると、下の画面が表示されます。ネットワークと接続しているプリントサーバが検索されましたら各アイコンがアクティブになり以下の画面が表示します。



The screenshot shows the Max Manager application window. The title bar includes 'Status', 'Refresh', 'Init Device', 'Configuration', 'Diagnostics', 'Control', and 'Help'. Below the title bar is a toolbar with various icons for printer management. The main area contains a table with the following data:

Group	Default Name	Device Name	Printer Port
[ROOT]	1 SC417204	SC417204	B500

< Default Name >

プリントサーバのデフォルト名が表示されます。

< Device Name >

プリントサーバの名前

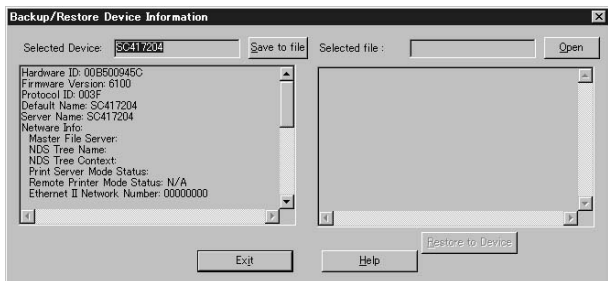
< Printer Port >

番号とポートタイプが表示されます

Device Information(デバイス情報)



プリントサーバの情報が表示されます。



< Save to file >

現在プリントサーバに設定されている情報をPCに保存します。

< Open >

PCに保存されている情報を読み込み、プリントサーバに設定されます。

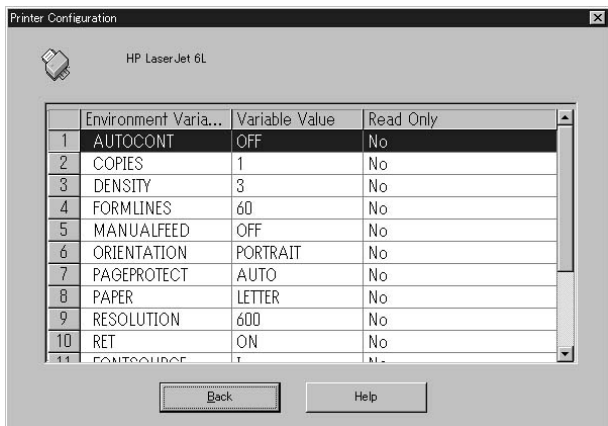
Parallel Port ** Status(パラレルポート ステータス)



各パラレルポートに接続しているプリンタの情報や設定が行えます。



もしプリンタが双方向通信対応で“ビジー”状態でない場合「Configuration」ボタンがアクティブになりプリントサーバと接続されているプリンタの設定が可能です。



< Environment Variable >

各プリンタ設定項目はプリンタの種類により異なります。

< Variable Value >

現在の設定内容が表示されます。編集する場合は「Read Only」項目が“ NO ”の状態を変更したい欄をダブルクリックして新しい値を入力してください。

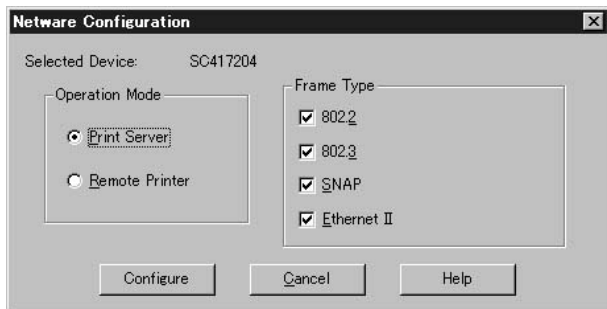
< Read Only >

「Environment Variable」が編集可能か現しています。

NetWare(ネットウェア)



NetWareの設定を行う場合にはこのアイコンをクリックしてください。下の設定画面が表示されます。



< Selected Device >

デバイス名が表示されます。

< Operation Mode >

プリントサーバにはオペレーションモードが二つあります。

[Print Server]

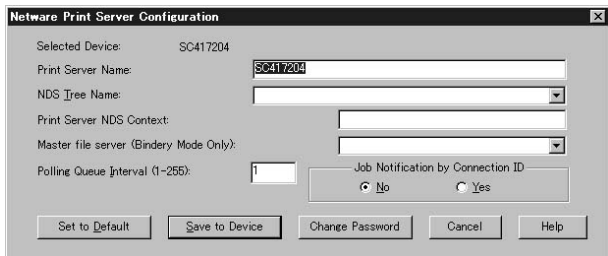
プリントサーバモードは処理が速く、Remote Printerよりも使用するリソースが少なく済みます。ただし、ユーザーログインスロットを使用します。

[Remote Printer]

Remote Printerはユーザーログインスロットを使用しません。

< Frame Type >

ネットワークがサポートするフレームタイプを選択します。



< Selected Device >

デバイス名が表示されます。

< Print Server Name >

プリントサーバに設定した名前が表示されます。

< NDS Tree Name >

NDSのツリー名が表示されます。(NDS modeのみ)

< Print Server NDS Context >

NDSコンテキストが表示されます。(NDS modeのみ)

< Master file server(Bindery Mode Only) >

プリントサーバのマスターファイル名が表示されます。

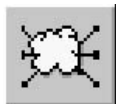
< Polling Queue Interval(1-255) >

プリントキューのポーリング時間の設定が行えます。

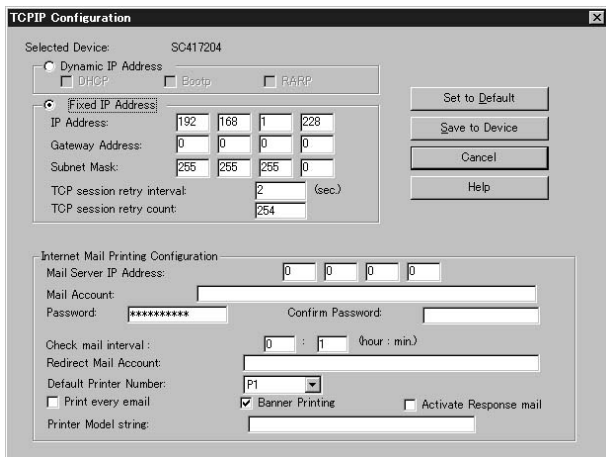
< Job Notification by Connection ID >

“ Yes ”に設定しますとプリントジョブを送信したワークステーションのみにジョブを通知します。“ No ”に設定しますとログインした全ワークステーションにジョブの通知をします。

TCP/IP



TCP/IPやインターネットプリントの設定を行う場合にはこのアイコンをクリックしてください。このアイコンをクリックしないと下の設定画面が表示されません。



TCP/IP Configuration

Selected Device: SC417204

Dynamic IP Address
 DHCP Bootp RARP

Fixed IP Address

IP Address: 192 168 1 228
Gateway Address: 0 0 0 0
Subnet Mask: 255 255 255 0
TCP session retry interval: 2 (sec)
TCP session retry count: 254

Buttons: Set to Default, Save to Device, Cancel, Help

Internet Mail Printing Configuration

Mail Server IP Address: 0 0 0 0
Mail Account: _____
Password: ***** Confirm Password: _____
Check mail interval: 0 : 1 (hour : min)
Redirect Mail Account: _____
Default Printer Number: P1
 Print every email Banner Printing Activate Response mail
Printer Model string: _____

< Dynamic IP Address >

DHCP、Bootp、RARPの設定が行えます。

< Fixed IP Address >

固定IPアドレスを設定する場合はこの項目に設定します。

[IP Address]

プリントサーバにIPアドレスを設定します。

[Gateway IP Address]

プリントサーバにゲートウェイアドレスを設定します。

[Subnet Mask]

プリントサーバにサブネットマスクを設定がします。

[TCP session retry interval]

切断された後、再接続までの時間を設定します

[TCP session retry count]

再接続する回数を設定します。

< Mail Server IP Address >

メールサーバのIPアドレスを入力してください。

< Mail Account >

メールアカウントを入力してください。

< Password >

入力したメールアカウントに対するパスワードを入力してください。

< Confirm Password >

確認のためパスワードを再入力してください。

< Check Mail interval >

メールサーバへの受信確認の時間間隔を指定します。

< Redirect Mail Account >

プリント不可能なメールを受信した場合の通知先のメールアドレスを入力してください。

< Default Printer Number >

プリントサーバ上の出力先のポートまたは理論ポートを指定してください。

< Options >

以下の項目から設定したい項目のチェックボックスをチェックしてください。

< Print every E-Mail >

受信した全てのメールをプリントします。

< Banner Printing >

受信したデータをプリントする前にそのデータの送信アドレス、受信アドレス、内容、日時をプリントします。

< Activate Response mail >

プリントが完了したことを送信者にメールで通知します。

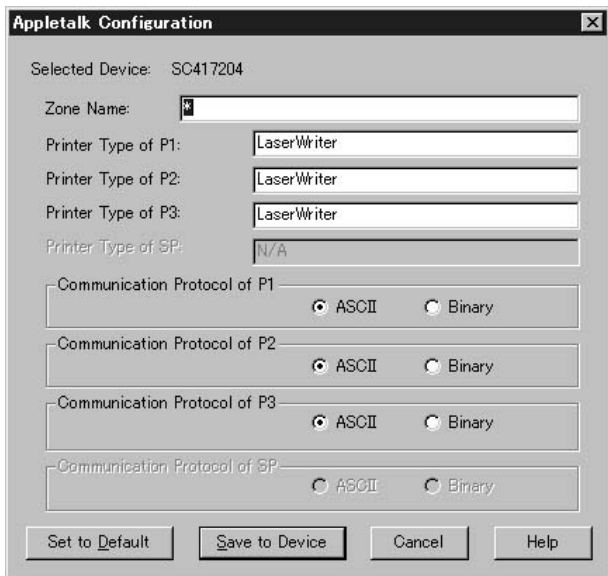
< Printer Model string >

19文字以内で任意のプリンタ名を入力してください。

AppleTalk(アップルトーク)



AppleTalkの設定を行う場合はこのアイコンをクリックしてください。下の設定画面が表示されます。



< Selected Device >

デバイス名が表示されます。

< Zone Name >

ゾーン名が表示されます。ネットワークにゾーンが存在しない場合は星印が表示されます。

< Printer Type of P* >

プリントサーバと接続されているプリンタのモデル(型/品番)が表示されます。

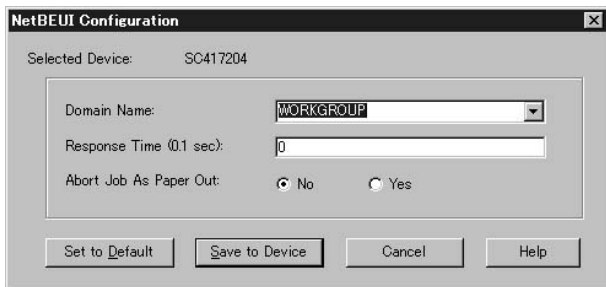
< Communication Protocol of P* >

プリントサーバに設定されているデータのフォーマットが表示されます。PostScript対応のプリンタを使用している場合はASCII、Binaryのデータフォーマットを選択できます。

NetBEUI(ネットビューイ)



NetBEUIの設定を行う場合はこのアイコンをクリックしてください。以下の設定画面が表示されます。



< Domain name >

プリントサーバに設定されているドメイン名(ワークグループ)を表示します。

< Response Time >

プリントサーバへ送るジョブの速度を設定します。デフォルトには0(ゼロ)と設定されていますが、プリンタの処理速度が遅い場合は時間を変更してください。

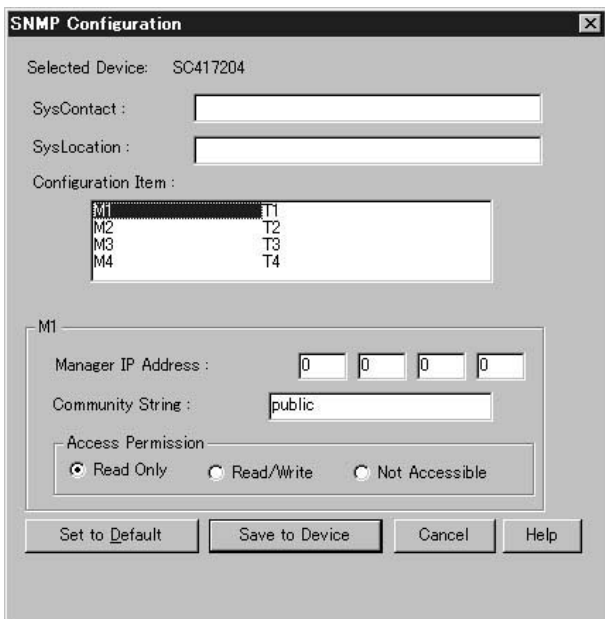
< Abort Job As Paper Out >

プリントサーバにエラーが発生した場合、プリントジョブを中止するか、しないかの設定を行います。(No : 中止しない、Yes : 中止する)

SNMP(ic_snmp.gif)



SNMPの設定を行う場合はこのアイコンをクリックしてください。次の設定画面が表示されます。



The image shows a 'SNMP Configuration' dialog box with the following fields and controls:

- Selected Device:** SC417204
- SysContact:** An empty text input field.
- SysLocation:** An empty text input field.
- Configuration Item:** A list box containing the following items:

M1	T1
M2	T2
M3	T3
M4	T4
- M1 configuration section:**
 - Manager IP Address:** Four separate input boxes, each containing the digit '0'.
 - Community String:** A text input field containing the word 'public'.
 - Access Permission:** A group box containing three radio buttons:
 - Read Only
 - Read/Write
 - Not Accessible
- Buttons:** 'Set to Default', 'Save to Device', 'Cancel', and 'Help'.

< Selected Device >

デバイス名が表示されます。

< SysContact >

プリンタサーバを管理する管理者の名前が表示されます

< SysLocation >

管理者とコンタクトできる場所が表示されます

< Configuration Item >

番号を選択してください。M1～4はマネージメント専用設定項目です。
T1～4はトラップ取得者専用設定項目です。

< Manager IP address >

SNMPプログラムがインストールされているIPアドレスを入力してください

< Community String >

コミュニティが表示されます。

< Access Permission >

アクセスタイプが表示されます。

「Configuration Item」リストからトラップ(T1~T4)を選択すると以下の画面が表示されます。

T1

Trap Receive IP Address : 0 0 0 0

Community String : public

Trap Option

Enable

Disable

Trap Severity

1 2 3

< Trap Receive IP Address >

トラップを受信するコンピュータのIPアドレスを入力します。

< Community String >

コミュニティが表示されます。

< Trap Option >

トラップの有効/無効を設定します。

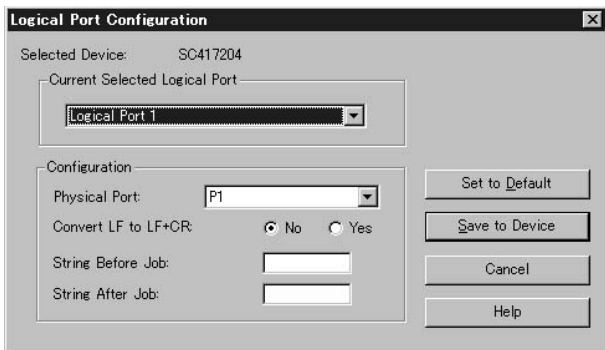
< Trap Severity >

規則レベルの設定が行えます。

Logical Port(ロジカルポート)



Logical Portの設定を行う場合にはこのアイコンをクリックしてください。下の設定画面が表示されます。



< Selected Device >

デバイス名が表示されます

< Current Selected Logical Port >

現在選択されているロジカルポート番号です。

< Physical Port >

現在選択されている物理ポート番号です。

< Convert LF to LF+CR >

“ Yes ”に設定するとLFからLF+CRに変換します。“ No ”に設定すると変換しません。

< String Before Job >

プリントジョブが実行される前に行うコマンド(命令)をこの項目に設定します。

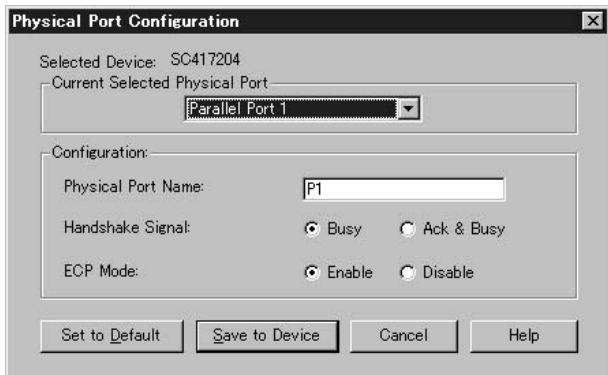
< String After Job >

プリントジョブが実行された後に行うコマンド(命令)をこの項目に設定します。

Physical Port(物理ポート)



Physical Portの設定を行う場合にはこのアイコンをクリックしてください。下の設定画面が表示されます。



< Current Selected Physical Port >

各ポートの選択ができます。

< Physical Port Name >

現在選択しているポートの名前を入力することができます。

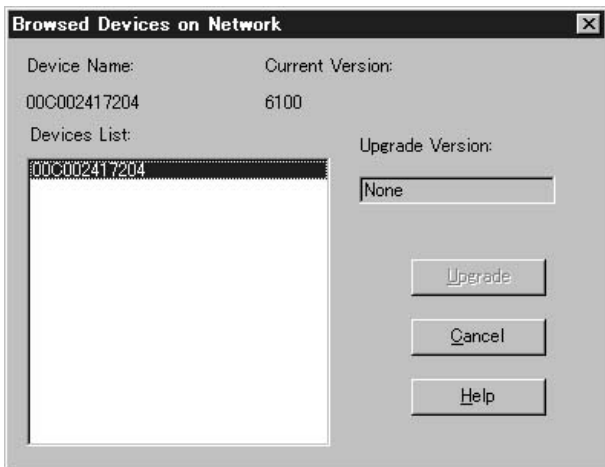
< Handshake Signal >

“ Busy ”か“ Ack & Busy ”(Acknowledge and Busy)を選択してください。デフォルト設定時は“ Ack & Busy ”です。

Firmware(ファームウェア)



本製品のファームウェアをアップグレードするときに行います。アップグレードアイコンをクリックする前にアップグレードに必要な.BINファイルはMax Managerのソフトがインストールされているフォルダーへコピーしてください。



1. Upgradeアイコンをクリックしてください。
2. Upgradeに必要なファイルは“ C : ¥Planex ¥ Max ”(デフォルトでインストールされた場合)のフォルダ内にコピーしてください。
3. デバイスリストの中にアップグレードするプリントサーバ名を選択してください。
4. 選択したプリントサーバ用のアップグレードファイルがフォルダ内にあった場合、「Upgrade」ボタンをクリックしてください。ファームウェアのアップグレードが開始されます。

Refresh(更新)



ネットワークと接続しているプリントサーバの情報を更新します。

Exit(出口)



Max Managerのユーティリティを終了します。

2. ブラウザ

本製品にはウェブサーバが内蔵されています。ブラウザのバージョンはIE 4.0やNetscape 4.0以上を使用して設定を行ってください。ブラウザを使用して本製品の設定を行う前に、Max300にIPアドレスが設定されているか確認してください。設定されていない場合は「Max Manager」のユーティリティーか「Print Server Driver」のドライバを使用してIPアドレスを設定してください。

▲ 注意

ブラウザでMax300の設定を行う前にMax300のIPアドレスを設定してください。

アップルトーク

画面上のメニューから「アップルトーク」をクリックしてください。アップルトークの設定画面が表示されます。

アップルトーク

アップルトークゾーン	<input type="text" value="*"/>												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><thead><tr><th style="width: 25%;">ポート</th><th style="width: 40%;">プリンタタイプ</th><th style="width: 35%;">通信プロトコル</th></tr></thead><tbody><tr><td>パラレルポート 1</td><td><input type="text" value="LaserWriter"/></td><td><input type="radio"/> ASCII <input type="radio"/> Binary</td></tr><tr><td>パラレルポート 2</td><td><input type="text" value="LaserWriter"/></td><td><input type="radio"/> ASCII <input type="radio"/> Binary</td></tr><tr><td>パラレルポート 3</td><td><input type="text" value="LaserWriter"/></td><td><input type="radio"/> ASCII <input type="radio"/> Binary</td></tr></tbody></table>		ポート	プリンタタイプ	通信プロトコル	パラレルポート 1	<input type="text" value="LaserWriter"/>	<input type="radio"/> ASCII <input type="radio"/> Binary	パラレルポート 2	<input type="text" value="LaserWriter"/>	<input type="radio"/> ASCII <input type="radio"/> Binary	パラレルポート 3	<input type="text" value="LaserWriter"/>	<input type="radio"/> ASCII <input type="radio"/> Binary
ポート	プリンタタイプ	通信プロトコル											
パラレルポート 1	<input type="text" value="LaserWriter"/>	<input type="radio"/> ASCII <input type="radio"/> Binary											
パラレルポート 2	<input type="text" value="LaserWriter"/>	<input type="radio"/> ASCII <input type="radio"/> Binary											
パラレルポート 3	<input type="text" value="LaserWriter"/>	<input type="radio"/> ASCII <input type="radio"/> Binary											

<アップルトークゾーン>

ゾーン名が表示されます。ネットワークにゾーンが存在しない場合は星印が表示されます。

<ポート>

各ポートが表示されます。

< プリントタイプ >

プリントサーバと接続されているプリンタのモデル(型/品番)が表示されます。

< 通信プロトコル >

プリントサーバに設定されているデータのフォーマットが表示されます。PostScript対応のプリンタを使用している場合はASCII、Binaryいずれかのデータフォーマットを選択できます。

ネットビューイ

画面上のメニューから「ネットビューイ」をクリックしてください。ネットビューイの設定画面が表示されます。

ネットビューイ	
ドメイン名	Workgroup
レスポンス タイム (0.1 秒)	0 (0..255)
エラー発生時にプリントジョブ中止	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ

< ドメイン名 >

プリントサーバに設定されているドメイン名を表示します。

< レスポンス タイム >

プリントサーバへ送るジョブの速度を設定します。デフォルトには0(ゼロ)と設定されていますが、プリンタの処理スピードが遅い場合は時間を変更してください。

< エラー発生時にプリントジョブ中止 >

プリントサーバにエラーが発生した場合、プリントジョブを中止するか、しないかの設定を行います。(No : 中止しない、Yes : 中止する)

ネットワーク ステータス

画面上のメニューから「ネットワーク」をクリックしてください。
ネットワークの設定画面が表示されます。

ネットワーク	
一般	
ネットワーク モード	<input type="radio"/> プリント サーバ モード <input type="radio"/> リモート プリンタ モード
フレーム タイプ	<input type="checkbox"/> 802.2 <input type="checkbox"/> 802.3 <input type="checkbox"/> SNAP <input type="checkbox"/> Ethernet II
リモート プリンタ モード	
パラレルポート 1用 ネットウェア プリンタ サーバ	<input type="text"/>
パラレルポート 2用 ネットウェア プリンタ サーバ	<input type="text"/>
パラレルポート 3用 ネットウェア プリンタ サーバ	<input type="text"/>
プリント サーバ モード	
NDS ツリー名	<input type="text"/>
NDS コンテキスト	<input type="text"/>
マスター ファイル サーバ	<input type="text"/> (iPインデレーモード用)
ネットワーク パスワード	<input type="text"/>
ジョブの通知	<input type="radio"/> 送信したワークステーションのみ <input type="radio"/> 全ログイン
ポーリング キュー インターバル	<input type="text"/> (1..255)

< ネットウェア モード >

プリントサーバモードかリモートプリンタモードを選択してください。

< フレームタイプ >

ネットワークで使用しているフレームタイプを選択してください。

<パラレルポート*用 ネットウェア プリントサーバ>

ネットウェアが使用するパラレルポートが表示されます。(*は、パラレルポート番号 [1~3] を表します。)

<NDSツリー名>

ファイルサーバのツリー名が表示されます。

<NDSコンテキスト>

NDSコンテキストへのパスが表示されます。

<マスターファイルサーバ>

プリントサーバのマスターファイル名が表示されます。

<ネットウェア パスワード>

ネットウェア プリントサーバのパスワードが表示されます。ネットウェアサーバへ接続するために必要です。

<ジョブの通知>

項目は二つあります。

[送信したワークステーションのみ]

プリントジョブが送られてきたワークステーションのみにジョブを通知します。

[全ログイン]

ログインした全ワークステーションにジョブの通知をします。

<ポーリング キュー インターバル>

サービスされるキューの時間を設定します。

SNMP

画面上のメニューから「SNMP」をクリックしてください。SNMPの設定画面が表示されます。

The image shows the SNMP configuration interface. At the top, the title 'SNMP' is centered. Below it are two input fields: '管理者名' (Administrator Name) and '管理者の場所' (Administrator Location). Below these are two buttons: 'セーブ' (Save) and 'キャンセル' (Cancel). The interface is divided into two main sections: 'マネージメントステーション' (Management Station) and 'トラップ取得者' (Trap Receiver). Each section has a 'No.' dropdown menu with '1' selected and a 'データ' (Data) button. The 'Management Station' section includes fields for 'IP アドレス' (IP Address), 'コミュニティ' (Community), and 'アクセス' (Access) with a dropdown menu set to '読み取り専用' (Read-only). The 'Trap Receiver' section includes fields for 'IP アドレス' (IP Address), 'コミュニティ' (Community), and a checkbox for '有効と同時に規則レベル:' (Valid and simultaneously rule level) with a dropdown menu set to '1'.

< 管理者名 >

プリンタサーバを管理する管理者の名前が表示されます

< 管理者の場所 >

管理者とコンタクトできる場所が表示されます

< No. >

番号を選び、「データ」をクリックしてください。選択した番号の情報が更新されます。

< IPアドレス >

SNMPプログラムがインストールされているIPアドレスを入力してください

< コミュニティ >

コミュニティが表示されます。

< アクセス >

アクセスタイプが表示されます。

<有効と同時に規則レベル>

チェックボックスをチェックしますと規則レベルが有効になります。有効になったあとは規則レベルを選択してください。

TCP/IP

画面上のメニューから「TCP/IP」をクリックしてください。TCP/IPの設定画面が表示されます。

TCP/IP	
LAN 設定	
DHCP	<input type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
デバイス IP アドレス	192 . 168 . 0 . 1
ルーター IP アドレス	0 . 0 . 0 . 0
ネットワークマスク	255 . 255 . 255 . 0
TCP/IP 再接続 設定	
再接続までの時間(秒)	2 (0..255)
再接続回数	254 (0..255)

<DHCP>

DHCPを有効 / 無効に設定できます。

<RARP>

RARPを有効 / 無効に設定できます。

<BOOTP>

BOOTPを有効 / 無効に設定できます。

<IPアドレス>

プリントサーバに設定されているIPアドレスが表示されます。

< ルーターIPアドレス >

プリントサーバに設定されているゲートウェイアドレスが表示されます。

< サブネットマスク >

プリントサーバに設定されているサブネットマスクが表示されます。

< 再接続までの時間 >

切断された後、再接続までの時間を設定します。

< 再接続回数 >

再接続する回数を設定します。

サーバ設定

画面上のメニューから「サーバ設定」をクリックしてください。プリントサーバの設定画面が表示されます。

サーバ設定	
プリントサーバ名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
確認パスワード	<input type="text"/>
有効プロトコル	<input type="checkbox"/> アップルトーク <input type="checkbox"/> IPX/SPX <input type="checkbox"/> ネットビューイ

< プリントサーバ名 >

現在のプリントサーバ名が表示されます。

<パスワード>

プリントサーバのパスワードを設定することができます。

<確認パスワード>

「パスワード」に入力したパスワードを入力してください。

<有効プロトコル>

TCP/IP以外のプロトコルの有効/無効の設定ができます。チェックボックスにチェックしますと有効になります。

サーバステータス

画面上のメニューから「サーバステータス」をクリックしてください。プリントサーバのステータスが表示されます。

サーバステータス

```
Hardware ID: 00B500945C
Firmware Version: 6100
Protocol ID: 003F
Default Name: SC417204
Server Name: SC417204
Netware Info:
Master File Server:
NDS Tree Name:
NDS Tree Context:
Print Server Mode Status:
Remote Printer Mode Status: N/A
Ethernet II Network Number: 00000000
802.2 Network Number: 00000000
802.3 Network Number: 00000000
SNAP Network Number: 00000000
AppleTalk Info:
Printer Type:
SC417204:LaserWriter
TCP/IP Info:
IP Address: 192.168.1.228
Gateway Address: 0.0.0.0
Subnet Mask: 255.255.255.0
Email Server IP Address: 0.0.0.0
Printing Account Name: N/A
Redirect Account Name: N/A
SMB Info:
Domain Name: WORKGROUP
```

プリンタ ステータス

画面上のメニューから「プリンタ ポート」をクリックしてください。プリンタポートに接続しているプリンタのステータスが表示されます。

プリンタ ステータス

パラレル ポート 1

接続プリンタ名	P1
ステータス	Offline
プリント情報	Idle

パラレル ポート 2

接続プリント名	P2
ステータス	Offline
プリント情報	Idle

パラレル ポート 3

接続プリント名	Laser Jet
ステータス	On-Line
プリント情報	Idle

< 接続プリンタ名 >

プリンタサーバに設定されているプリンタの名前が表示されます。

< ステータス >

プリンタの状況が表示されます。

< プリント情報 >

プリントジョブの状況が表示されます。

< テストプリント印刷 >

プリンタのテストプリントを行います。

ロジカル プリンタ

画面上のメニューから「ロジカル プリンタ」をクリックしてください。
ロジカルプリンタの設定画面が表示されます。

ロジカル プリンタ	
ロジカル プリンタ	No: 1 <input type="button" value="データ"/>
ポート	パラレル 1 <input type="button"/>
プリント前のコントロール (Hex)	<input type="text"/>
プリント後のコントロール (Hex)	<input type="text"/>
LF から CR/LFへ変換	<input type="checkbox"/>

<ロジカル プリンタ>

設定したいロジカルプリンタポートを選択してください。「データ」ボタンをクリックしますと、選択した番号の情報が更新されます。

<ポート>

ロジカルプリンタが使用するプリンタポートを選択してください。

<プリント前のコントロール>

毎プリントジョブの前にプリンタへ命令を送る設定ができます。

<プリント後のコントロール>

毎プリントジョブの後にプリンタへ命令を送る設定ができます。

<LFからCR/LFへ変換>

チェックボックスをチェックしますとLFをCR/LFへ変換します。

インターネット プリント

画面上のメニューから「インターネット プリント」をクリックしてください。インターネットプリントの設定画面が表示されます。

インターネット プリント

メール サーバ

メール サーバ IP アドレス	192 . 168 . 0 . 1
アカウント名	<input type="text"/>
アカウント パスワード	<input type="password"/>
確認パスワード	<input type="password"/>
メールチェック:	<input type="text"/> : <input type="text"/> (時: 分)
プリント不可能なメール:	<input type="text"/>

プリンタ

プリンタモデル	<input type="text"/>
プリンタポート	パラレル 1
オプション	<input type="checkbox"/> 全メールをプリント <input type="checkbox"/> プリント バナー ページ <input type="checkbox"/> プリント後のメール送信

< メールサーバIPアドレス >

プリントサーバが使用するメールサーバのIPアドレスが表示されます。

<アカウント名>

メールサーバアカウントを入力してください。インターネットプリントを行う場合は、このアカウントへプリントジョブを送ります。

<アカウント パスワード>

メールアカウントパスワードを入力してください。

<確認パスワード>

「アカウント パスワード」に入力したパスワードを再度入力してください。

<メールチェック>

メールサーバをチェックする時間の設定を行います。

<プリント不可能なメール>

プリントできないプリントジョブはここへ送られます。この項目が空白の場合はプリント不可のプリントジョブは破棄されます。

<プリンタモデル>

インターネットプリント時にプリンタを認識するために使用します。

<プリンタポート>

インターネットプリントに使用するポートを選択してください。

<オプション>

オプションには三つの項目があります。

[全メールをプリント]

チェックボックスをチェックすると、受け取ったすべてのメールをプリントします。無効(チェックしていない場合)の場合は「Internet Printing Port」ソフトウェアを使用したメールのみプリントされます。

[プリントバナーページ]

チェックボックスをチェックすると、プリントジョブを送った送信者を判別するためバナーページを印刷します。

〔プリント後のメール送信〕

チェックボックスをチェックすると、受け取ったすべてのプリントジョブに返答メールを送ります。無効(チェックしていない場合)の場合はクライアント側の「Internet Printing Port」ソフトウェアの同じ項目をチェックした送信者のみに返答メールが届きます。

3. Telnet

本製品はTelnetにも対応しています。Telnetを使用して本製品の設定を行う前に、Max300にIPアドレスが設定されているか確認してください。設定されていない場合は「Max Manager」のユーティリティが「Print Server Driver」ドライバーをインストールしてIPアドレスを設定してください。

Telnetに表示されている各項目は「第3章 設定」の「ブラウザ」をご参照ください。

▲ 注意

ブラウザでMax300の設定を行う前に、Max300のIPアドレスを設定してください。

OS別インストールの概要

プ リントサーバはWindows 95/98/98 SE/Me、Windows NT/ 2000、NetWare、Mac OS、UNIXからの印刷に対応しており、さまざまなネットワーク環境での使用が可能です。ここでは標準的な5種類のネットワーク環境について、プリントサーバのインストール概要を例をあげて説明します。

1. Windows 95/98/98 SE/Me編

1-a. プロトコルのインストール

本製品はTCP/IP、IPX/SPX、NetBEUIプロトコルをサポートしています。プリントサーバを使用する場合は、必要なプロトコルをコンピュータへインストールしてください。

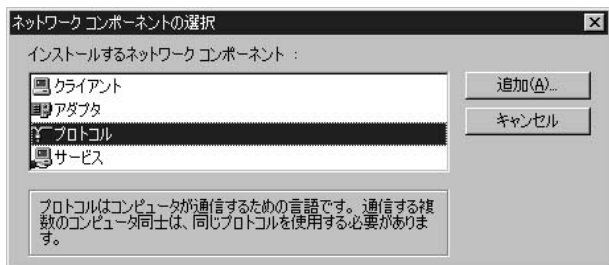
TCP/IPプロトコル

1. 「スタート」をクリックし、「設定」「コントロールパネル」を開いてください。

2. 「ネットワーク」をダブルクリックしてネットワークウィンドウを開いてください。



3. 「TCP/IP」プロトコルがインストールされていることを確認してください。「TCP/IP」プロトコルがインストールされていない場合は「追加」をクリックしてください。
4. 「ネットワークコンポーネントの選択」ウィンドウで「プロトコル」を選択し、「追加」をクリックしてください。



5. 「ネットワークプロトコルの選択」ウィンドウの「製造元」リストから“Microsoft”を選択してください。

6. 「ネットワークプロトコル」リストから「TCP/IP」プロトコルを選択して「OK」をクリックしてください。



7. 「TCP/IP」プロトコルがインストールされていることを確認してください。問題なく追加できましたら、以下の画面が表示されます。



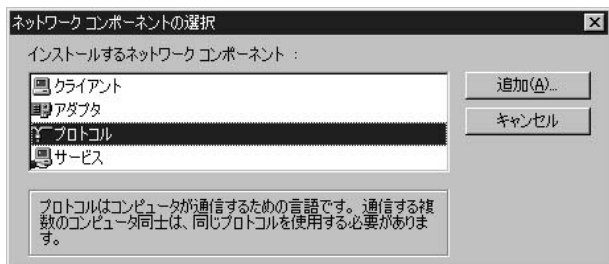
8. TCP/IPプロトコルのインストールが終了した後は、コンピュータを再起動してください。

IPX/SPXプロトコル

1. 「スタート」をクリックし、「設定」「コントロールパネル」を開いてください。
2. 「ネットワーク」をダブルクリックしてネットワークウィンドウを開いてください。

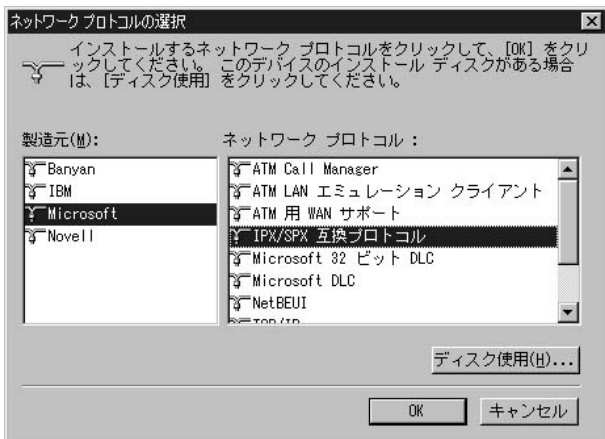


3. 「IPX/SPX互換プロトコル」がインストールされていることを確認してください。「IPX/SPX互換プロトコル」がインストールされていない場合は[追加]ボタンをクリックしてください。
4. 「ネットワークコンポーネントの選択」ウインドウで「プロトコル」を選択し、「追加」をクリックしてください。



5. 「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウの「製造元」リストから“ Microsoft ”を選択してください。

6. 「ネットワークプロトコル」リストから“IPX/SPX互換プロトコル”プロトコルを選択して「OK」をクリックしてください。



7. 「IPX/SPX 互換プロトコル」がインストールされていることを確認してください。問題なく追加できましたら、以下の画面が表示されます。



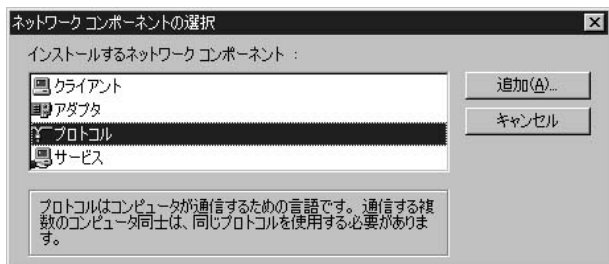
IPX/SPX互換プロトコルのインストールが終了した後は、コンピュータを再起動してください。

NetBEUIプロトコル

1. 「スタート」をクリックし、「設定」「コントロールパネル」を開いてください。
2. 「ネットワーク」をダブルクリックしてネットワークウィンドウを開いてください。

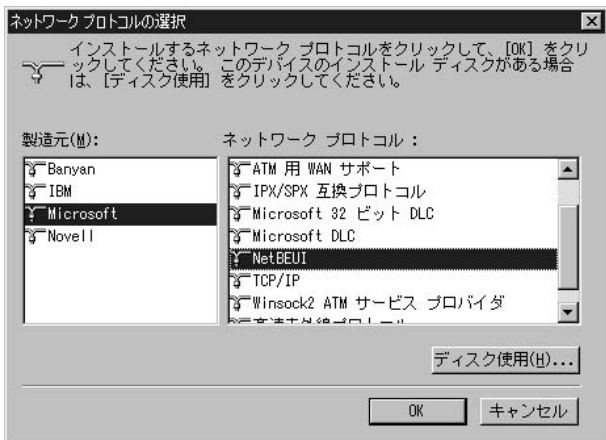


3. 「NetBEUI」プロトコルがインストールされていることを確認してください。「NetBEUI」プロトコルがインストールされていない場合は[追加]ボタンをクリックしてください。
4. 「ネットワークコンポーネントの選択」ウインドウで「プロトコル」を選択し、「追加」をクリックしてください。



5. 「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウの「製造元」リストから“ Microsoft ”を選択してください。

6. 「ネットワークプロトコル」リストから“NetBEUI”プロトコルを選択して「OK」をクリックしてください。



7. 「NetBEUI」プロトコルがインストールされていることを確認してください。問題なく追加できましたら、以下の画面が表示されます。



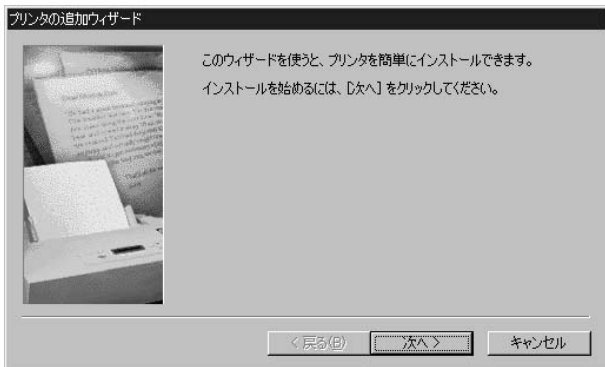
- NetBEUIプロトコルのインストールが終了した後はコンピュータを再起動してください。

1-b. プリンタの設定 (TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通)

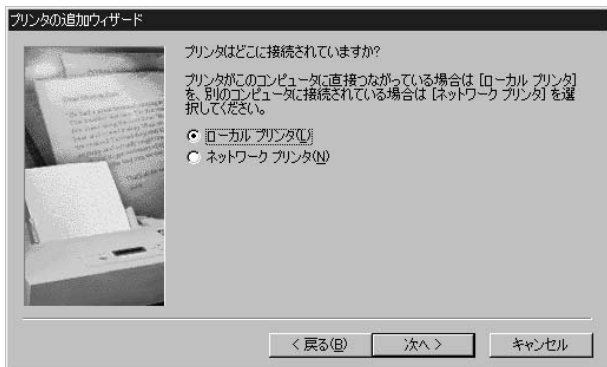
本製品はWindows 95/98/98 SE/Meからの印刷に対応しており、様々なネットワーク環境での使用が可能です。ここではすでにネットワークの設定が完了していることを前提としております。ご利用のネットワーク環境とプロトコルに合わせてインストール方法を選んでください。

プリンタの設定を行う前にCDドライブに「ドライバ&ユーティリティCD」を入れ、「Print Server Driver」をインストールしてください。CD-ROM内の Driver/ptp-95nt/ にsetup.exeがあります。setup.exeをダブルクリックして実行して下さい。

1. 「スタート」をクリックし、「設定」「プリンタ」を開いてください。
2. 「プリンタの追加」のアイコンをダブルクリックしてください。
3. 『プリンタの追加ウィザード』ウィンドウが表示されますので [次へ] ボタンをクリックしてください。



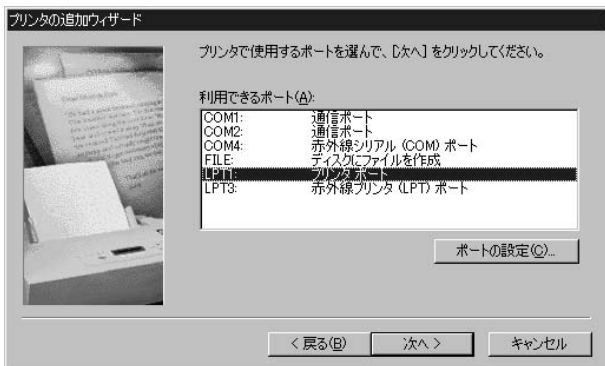
4. プリンタの接続先の確認画面が表示されますので「ローカルプリンタ」を選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



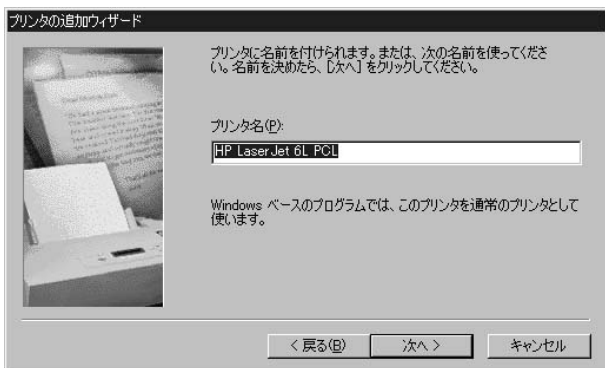
5. プリンタの選択画面が表示されます。プリンタのマニュアルを参考に、ご使用のプリンタの製造元とモデルをリストの中から選択して[次へ]ボタンをクリックしてください。



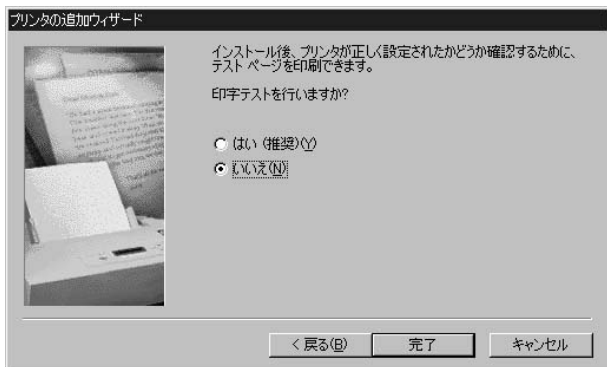
6. 『利用できるポート』の選択画面で“LPT1:”をリストの中から選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



7. プリンタ名を変更したい場合は、新しいプリンタ名を入力し[次へ]ボタンをクリックしてください。



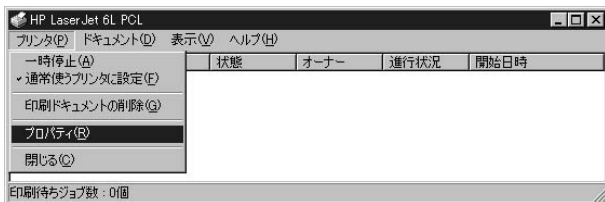
8. 『印字テスト』の確認画面が表示されるので[いいえ]を選択し、[完了]ボタンをクリックしてください。



9. プリンタ設定が終了した後は、新しく作成されたプリンタアイコンが『プリンタ』ウィンドウに表示されます。作成されたプリンタアイコンをダブルクリックしてください。



10. “プリンタ”ウィンドウから「プリンタ」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



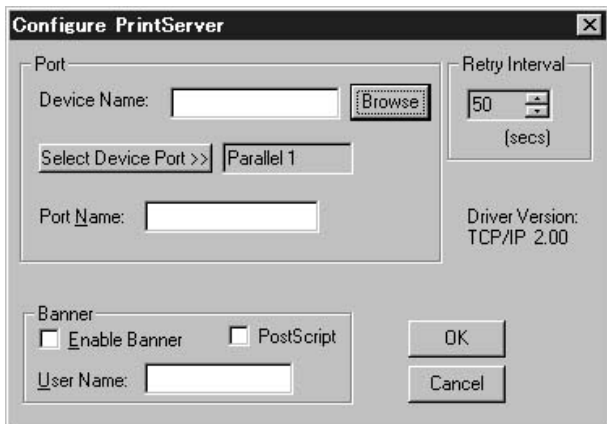
11. 『“プリンタ”のプロパティ』ウィンドウが表示されましたら「詳細」タブをクリックしてください。その後[ポートの追加]をクリックしてください。



12. 『ポートの追加』ウィンドウで「その他」を選択してください。
「追加するポートの種類」のリストから「Print Server」を選択して
[OK] ボタンをクリックしてください。

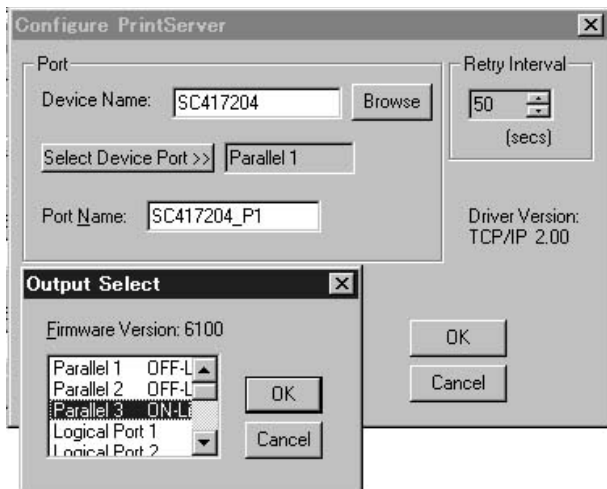


13. 『Configure PrintServer』ウィンドウが表示されます。「Browse」ボタンをクリックしてください。ネットワーク上で使用可能なプリントサーバの認識ができましたら「Device Select」ウィンドウが表示されます。ご使用されますプリントサーバを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



ここではTCP/IPを例として設定しています。

14. Device Nameにプリントサーバの名前が表示されました、「Select Device Port」ボタンをクリックしてください。「Output Select」ウインドウが表示されます。リスト上からご使用されますポートを選択して「OK」ボタンを押してください。「Configure PrintServer」ウインドウへ戻りましたら、「OK」ボタンを押してください。



15. 『“ プリンタ ”のプロパティ』ウィンドウへ戻りましたら、「印刷先のポート」の項目に書かれているポートを確認してください。



2. Windows NT/2000編

2-a. Windows NTプロトコルのインストール

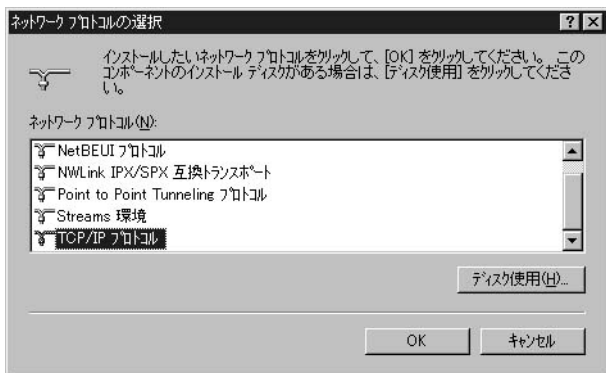
本製品はTCP/IP、IPX/SPX、NetBEUIプロトコルをサポートしています。プリントサーバを使用する場合は必要なプロトコルをインストールしてください。

TCP/IPプロトコル

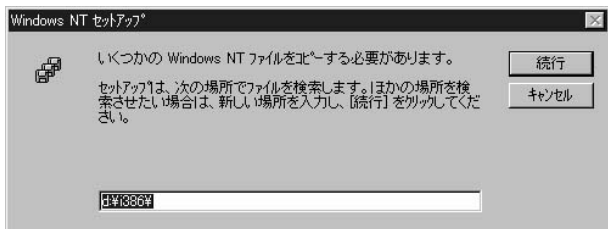
1. 「スタート」をクリックし、「設定」「コントロールパネル」を開いてください。
2. 「ネットワーク」をダブルクリックしてネットワークウインドウを開いてください。
3. 「プロトコル」タブをクリックしてください。



4. 「TCP/IP」プロトコルがインストールされていることを確認してください。「TCP/IP」プロトコルがインストールされていない場合は「追加」をクリックしてください。
5. 「ネットワークプロトコルの選択」ウィンドウで「TCP/IPプロトコル」を選択し、「OK」をクリックしてください。



6. 「Windows NTセットアップ」ウインドウが表示されます。「続行」をクリックしてください。もし「セットアップ メッセージ」ウインドウが表示されましたら、Windows NTのCD-ROMをCDドライブに入れて「OK」をクリックしてください。



7. 「プロトコル」に「TCP/IPプロトコル」が追加されます。
8. 続いて「TCP/IP印刷」を追加します。「サービス」タブをクリックしてください。
9. 「Microsoft TCP/IP印刷」がインストールされているか確認してください。追加されていない場合は「追加」ボタンをクリックしてください。

10. 「ネットワークサービスの選択」ウインドウで「Microsoft TCP/IP 印刷」を選択し、「OK」をクリックしてください。



11. 「Windows NTセットアップ」ウインドウが表示されます。「続行」をクリックしてください。もし「セットアップ メッセージ」ウインドウが表示されたら、Windows NTのCD-ROMをCDドライブに入れて「OK」をクリックしてください。

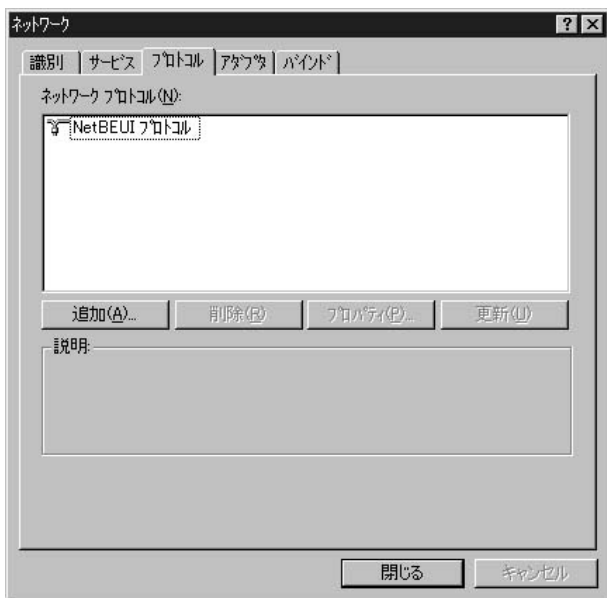
12.「サービス」に「MicrosoftTCP/IP印刷」が追加されます。



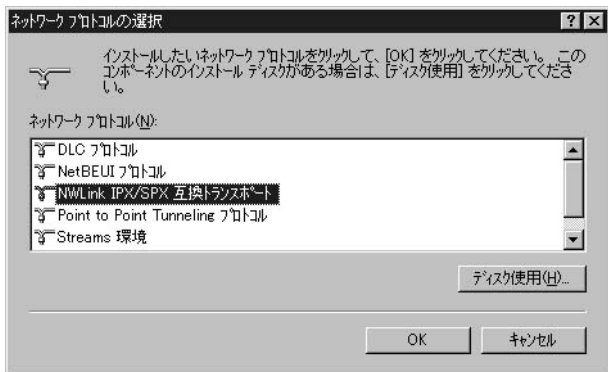
13.「ネットワーク設定の変更」画面が表示されます。「はい」のボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

IPX/SPXプロトコル

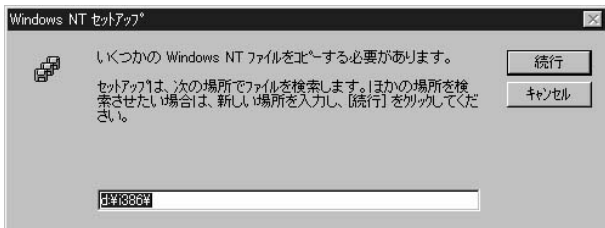
1. 「スタート」をクリックし、「設定」「コントロールパネル」を開いてください。
2. 「ネットワーク」をダブルクリックしてネットワークウィンドウを開いてください。
3. 「プロトコル」タブをクリックしてください。



4. 「NWLink IPX/SPX互換トランスポート」プロトコルがインストールされていることを確認してください。「NWLink IPX/SPX互換トランスポート」プロトコルがインストールされていない場合は [追加] ボタンをクリックしてください。
5. 「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウで「NWLink IPX/SPX互換トランスポート」を選択し、「OK」をクリックしてください。



6. 「Windows NTセットアップ」ウインドウが表示されます。「続行」をクリックしてください。もし「セットアップ メッセージ」ウインドウが表示されましたら、Windows NTのCD-ROMをCDドライブに入れて「OK」をクリックしてください。



7. 「プロトコル」に「NWLink IPX/SPX互換トランスポート」が追加されます。



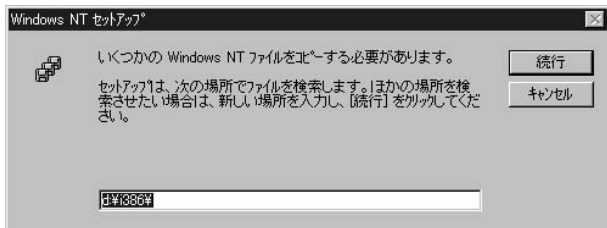
8. 「Max Manager」をインストールするPCには「Client Service for NetWare」が必要になります。「サービス」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックしてください。



9. 「ネットワークサービスの選択」ウィンドウで「Client Service for NetWare」(または「Gateway (and Client) Services for NetWare」)を選択し、「OK」をクリックしてください。



10. 「Windows NTセットアップ」ウィンドウが表示されます。「続行」をクリックしてください。もし「セットアップ メッセージ」ウィンドウが表示されましたら、Windows NTのCD-ROMをCDドライブに入れて「OK」をクリックしてください。



11. 「サービス」に「Client Service for NetWare」(または「Gateway Services for Netware」)が追加されます。



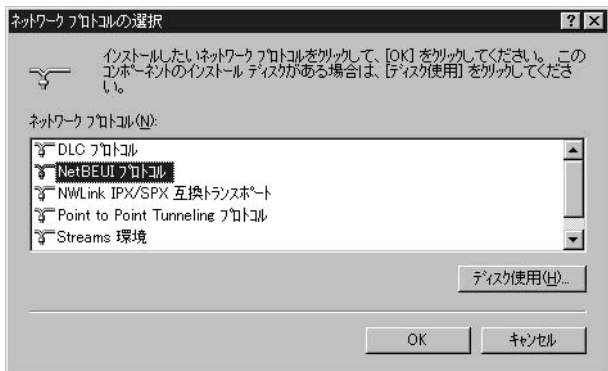
12. 「ネットワーク設定の変更」画面が表示されます。「はい」のボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

NetBEUIプロトコル

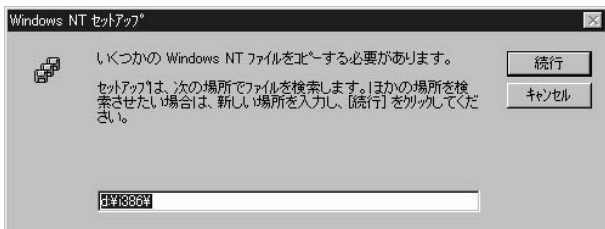
1. 「スタート」をクリックし、「設定」「コントロールパネル」を開いてください。
2. 「ネットワーク」をダブルクリックしてネットワークウインドウを開いてください。
3. 「プロトコル」タブをクリックしてください。



4. 「NetBEUI」プロトコルがインストールされていることを確認してください。「NetBEUI」プロトコルがインストールされていない場合は[追加]ボタンをクリックしてください。
5. 「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウで「NetBEUIプロトコル」を選択し、「OK」をクリックしてください。



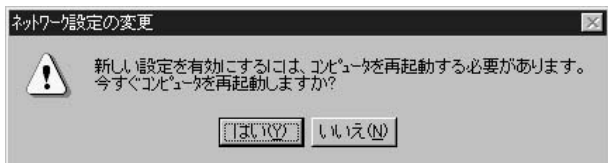
6. 「Windows NTセットアップ」ウインドウが表示されます。「続行」をクリックしてください。もし「セットアップ メッセージ」ウインドウが表示されましたら、Windows NTのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れて「OK」をクリックしてください。



7. 「プロトコル」に「NetBEUIプロトコル」が追加されます。



8. 「ネットワーク設定の変更」画面が表示されます。「はい」のボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。



2-b. プリンタの設定 (TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通)

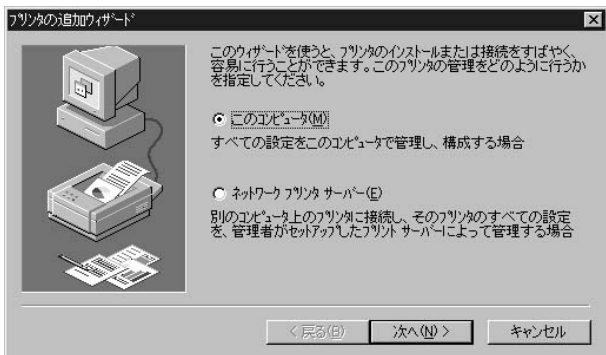
本製品はWindows NTからの印刷に対応しており、様々なネットワーク環境での使用が可能です。ここではすでにネットワークの設定が完了していることを前提にしております。ご利用のネットワーク環境とプロトコルに合わせてインストール方法を選んでください。

Windows NT **プリンタの設定** (TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通)
プリンタの設定を行う前にCDドライブに「ドライバ&ユーティリティCD」を入れ、「Print Server Driver」をインストールしてください。

▲ 注意

ここではTCP/IPを例として設定しています。基本的な設定はTCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通です。

1. 「スタート」をクリックし、「設定」「プリンタ」を開いてください。
2. 「プリンタの追加」のアイコンをダブルクリックしてください。
3. 『プリンタの追加ウィザード』ウィンドウが表示されますので「このコンピュータ」を選択して、[次へ] ボタンをクリックしてください。



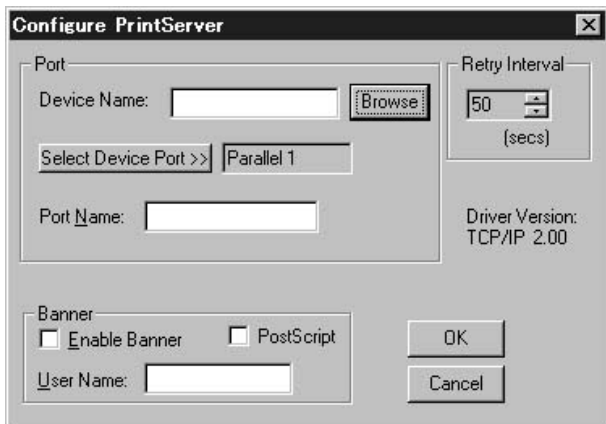
4. プリンタの「利用可能なポート」の確認画面が表示されますので「ポートの追加」ボタンをクリックしてください。



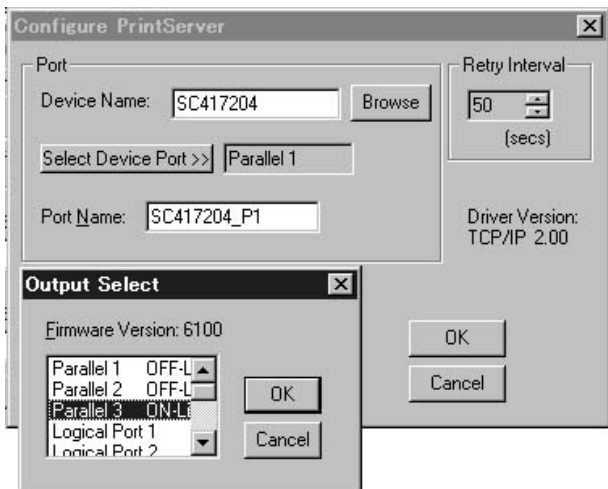
5. 「プリンタポート」ウィンドウが表示されます。「Print Server」を選択し、「新しいポート」ボタンをクリックしてください。



6. 『Configure Print Server』ウィンドウが表示されます。「ブラウス」ボタンをクリックしてください。ネットワーク上で使用可能なプリントサーバの認識ができましたら「Device Select」ウィンドウが表示されます。ご使用されますプリントサーバを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



7. Device Nameにプリントサーバの名前が表示されたら、「Select Device Port」ボタンをクリックしてください。『Output Select』ウィンドウが表示されます。リスト上から使用するポートを選択して「OK」ボタンを押してください。『Configure PrintServer』ウィンドウへ戻ります。Port Nameにポートの名前を変更できます。特に変更しない場合はそのまま「OK」ボタンを押してください。



8. プリンタの「利用可能なポート」の確認画面が再度表示されます。「ポート」の欄に新しいポートが追加されています。追加された新しいポートを選択して[次へ]ボタンをクリックしてください。



9. 「プリンタウィザード」ウィンドウが表示されます。プリンタのマニュアルを参考にプリンタの製造元とプリンタモデルをリストから選択してください。



10. プリント名の設定ウィンドウが表示されます。名前を変更しない場合は「次へ」をクリックしてください。
11. “プリンタの共有”確認画面が表示されます。プリンタの共有をしない場合「次へ」をクリックしてください。



12. “テストページ印刷”の確認画面が表示します。「はい」または「いいえ」を選択して、「完了」ボタンをクリックしてください。

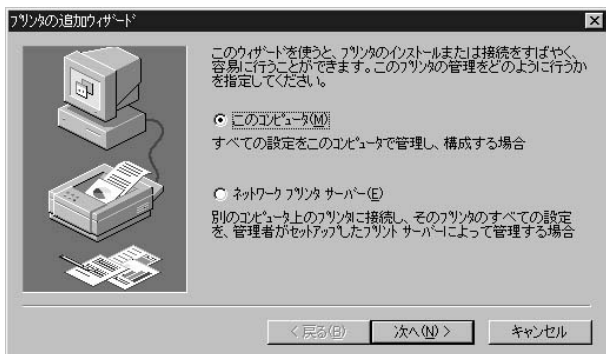


Windows NTプリンタの設定 (TCP/IPでLPRポート印刷)

▲ 注意

ここではTCP/IP LPRポートの設定を説明します。LPRポートを使用して印刷をしない場合は「Windows NTプリンタの設定 (TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通)」を参考に設定してください。

1. 「スタート」をクリックし、「設定」「プリンタ」を開いてください。
2. 「プリンタの追加」のアイコンをダブルクリックしてください。
3. 『プリンタの追加ウィザード』ウィンドウが表示されますので「このコンピュータ」を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



4. プリンタの「利用可能なポート」の確認画面が表示されますので「ポートの追加」ボタンをクリックしてください。



5. 「プリンタポート」ウィンドウが表示されます。「LPR Port」を選択し、「新しいポート」ボタンをクリックしてください。



6. 「LPR互換プリンタの追加」ウィンドウが表示されます。「lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス(N):」にはMax300に設定しているIPアドレスを入力してください。「サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名」にはプリントサーバに接続しているプリンタのポート番号を“L1~L3”と入力してください。

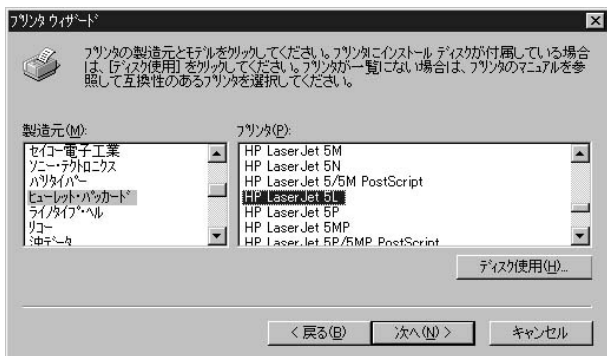


例：プリンタを Max300の平行ポート2に接続していた場合は、「L2（大文字で）」と入力して下さい。

7. プリンタの「利用可能なポート」の確認画面が再度表示されます。「ポート」の欄に新しいポートが追加されています。追加された新しいポートを選択して[次へ]ボタンをクリックしてください。



8. 「プリンタウィザード」ウィンドウが表示されます。プリンタのマニュアルを参考にプリンタの製造元とプリンタモデルをリストから選択してください。



9. プリンタ名の設定ウィンドウが表示されます。名前を変更しない場合は「次へ」をクリックしてください。

- 10.“プリンタの共有”確認画面が表示されます。プリンタの「共有する」を選択して「次へ」をクリックしてください。



- 11.“テストページ印刷”の確認画面が表示されます。「はい」または「いいえ」を選択して、「完了」ボタンをクリックしてください。



2-c. Windows 2000プロトコルのインストール

本製品はTCP/IP、IPX/SPX、NetBEUIプロトコルをサポートしています。プリントサーバを使用する場合は必要なプロトコルをインストールしてください。

TCP/IPプロトコル

TCP/IPプロトコルはNICがインストールされているコンピュータには自動的にインストールされています。

IPX/SPXプロトコル

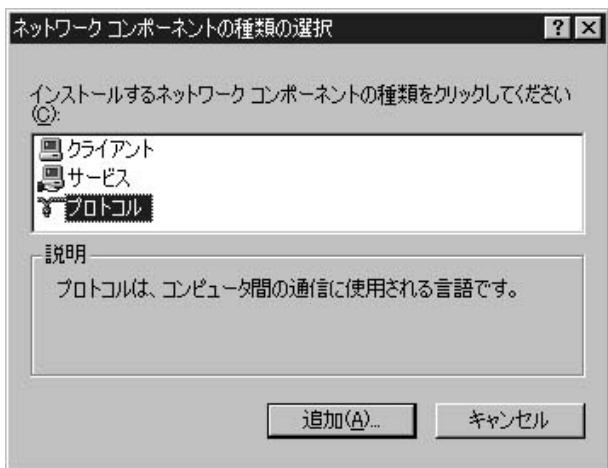
1. 「スタート」をクリックし、「設定」「コントロールパネル」を開いてください。
2. 「ネットワークとダイヤルアップ接続」アイコンをダブルクリックしてネットワークウィンドウを開いてください。
3. プリントサーバと接続する「ローカルエリア」アイコンをクリックし、アイコンが点灯したあと「ファイル」の「プロパティ」をクリックしてください。



4. 「ローカルエリア接続」ウィンドウが表示されます。「NWLink IPX/SPX/NetBIOS互換トランスポート」プロトコルがインストールされているか確認してください。「NWLink IPX/SPX/NetBIOS互換トランスポート」プロトコルがインストールされていない場合は[インストール]ボタンをクリックしてください。



5. 「ネットワークコンポーネントの種類を選択」ウインドウで「プロトコル」を選択して「追加」をクリックしてください。



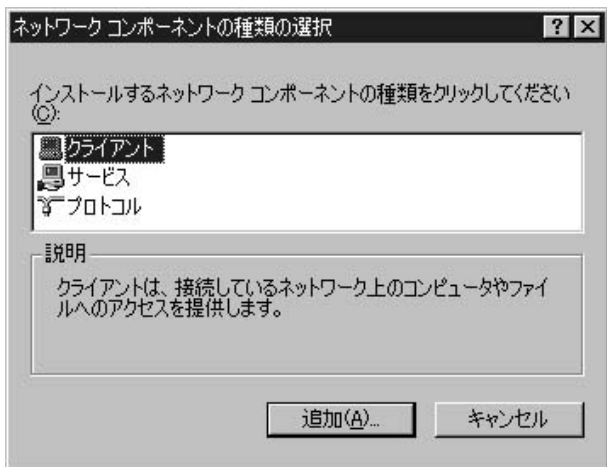
6. 「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウが表示されます。「製造元」リストから「Microsoft」を、「ネットワークプロトコル」リストから「NWLink IPX/SPX/NetBIOS互換トランスポート」プロトコルを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



7. 「NWLink IPX/SPX/NetBIOS互換トランスポートプロトコル」が追加されます。



8. 「Max Manager」をインストールするPCには「Client Service for NetWare」が必要になります。再度「インストール」ボタンをクリックしてください。
9. 「ネットワークコンポーネントの種類を選択」ウインドウで「クライアント」を選択して「追加」ボタンをクリックしてくださ



10. 「NetWare用ゲートウェイ(とクライアント)サービス」を選択して「OK」をクリックしてください。



11. 「NetWare用ゲートウェイ(とクライアント)サービス」が追加されます。追加された後は「コンピュータの再起動」ウィンドウが表示されますので「はい」ボタンをクリックしてください。



NetBEUIプロトコル

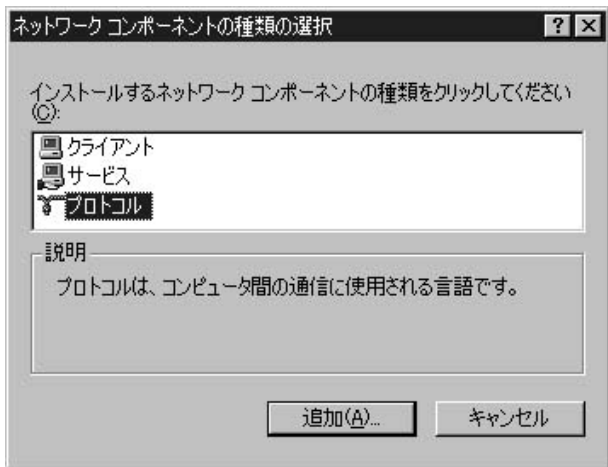
1. 「スタート」をクリックし、「設定」「コントロールパネル」を開いてください。
2. 「ネットワークとダイヤルアップ接続」アイコンをダブルクリックしてネットワークウィンドウを開いてください。
3. プリントサーバと接続する「ローカルエリア」アイコンをクリックし、アイコンが点灯したあと「ファイル」の「プロパティ」をクリックしてください。



4. 「ローカルエリア接続」ウィンドウが表示されます。「NetBEUIプロトコル」がインストールされているか確認してください。「NetBEUIプロトコル」がインストールされていない場合は[インストール]ボタンをクリックしてください。



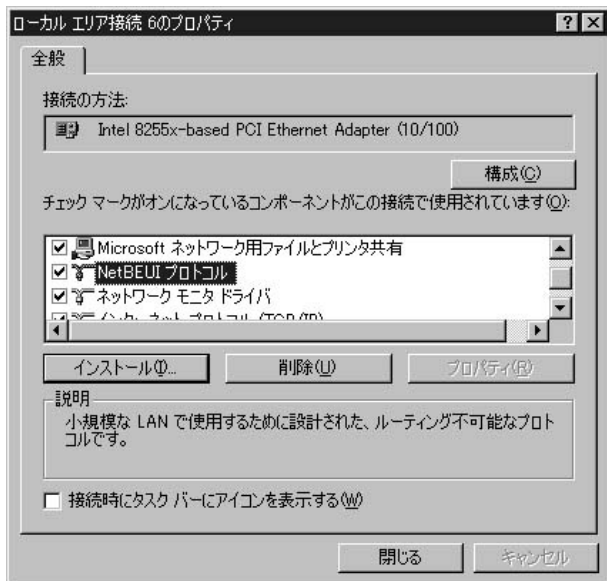
5. 「ネットワークコンポーネントの種類を選択」ウインドウで「プロトコル」を選択して「追加」をクリックしてください。



6. 「ネットワークプロトコルの選択」ウインドウが表示されます。「製造元」リストから「Microsoft」を、「ネットワークプロトコル」リストから「NetWareプロトコル」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



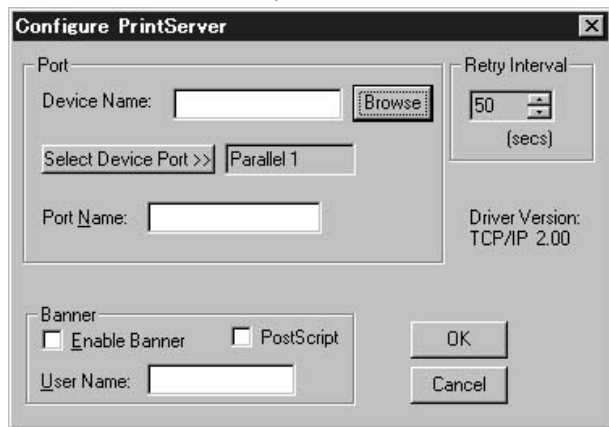
7. 「NetBEUI プロトコル」が追加されます。



2-d. プリンタの設定 (TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通)

本製品はWindows 2000からの印刷に対応しており、様々なネットワーク環境での使用が可能です。ここではすでにネットワークの設定が完了していることを前提としております。ご利用のネットワーク環境とプロトコルに合わせてインストール方法を選んでください。

Windows 2000 **プリンタの設定** (TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通)
プリンタの設定を行う前にCDドライブに「ドライバ&ユーティリティCD」を入れ、「Print Server Driver」をインストールしてください。インストールがインストールの最中に固まりましたら“ALT”+“TAB”キーを押してください。以下のウインドウが表示されます。

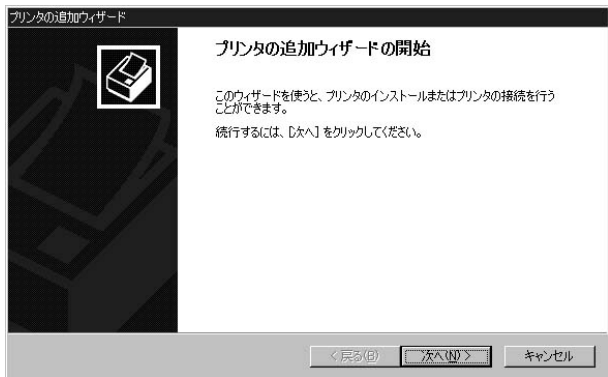


『Configure PrintServer』が表示されましたらそのままプリンタの設定を続けるか、あるいは「Cancel」ボタンをクリックしてインストールを終了してください。

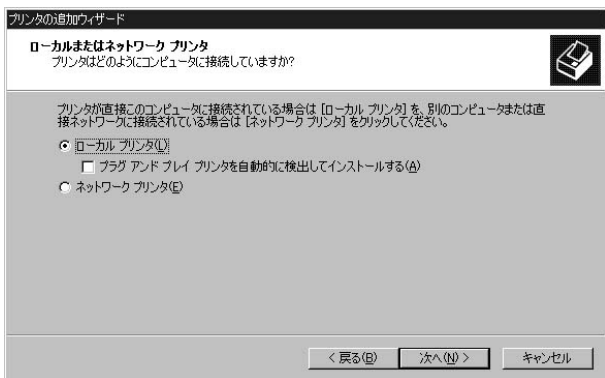
⚠ 注意

ここではTCP/IPを例として設定しています。基本的な設定はTCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通です。

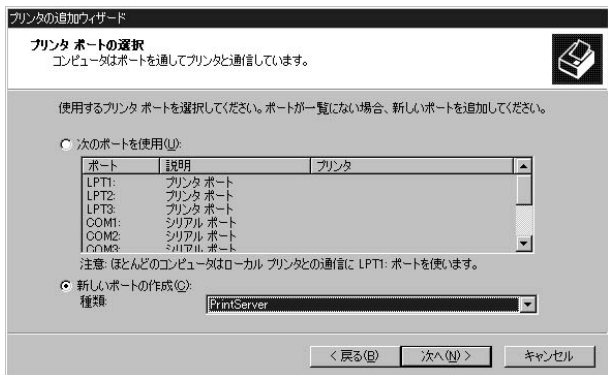
1. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」「プリンタ」を開いてください。
2. 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」ウインドウが表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



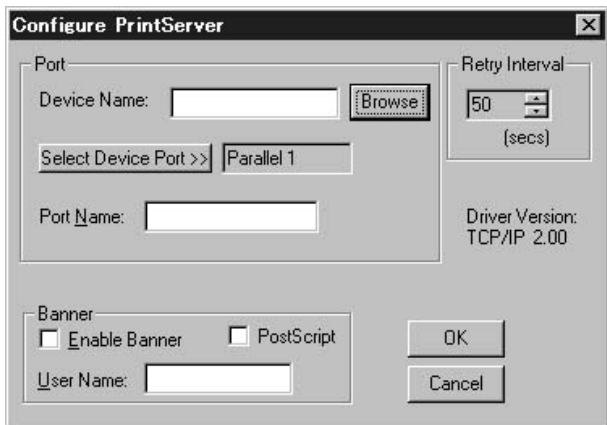
3. 「ローカルまたはネットワークプリンタ」ウィンドウが表示されますので「ローカルプリンタ」を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



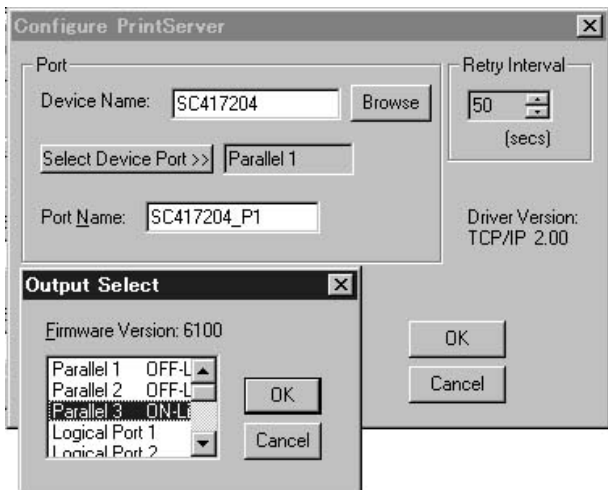
4. 「プリンタポートの選択」の選択画面が表示されますので「新しいポートの作成」項目をチェックしてください。チェックしたあと「種類」リストから「Print Server」を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。



5. 『Configure PrintServer』ウィンドウが表示されます。「ブラウス」ボタンをクリックしてください。ネットワーク上で使用可能なプリントサーバの認識ができましたら「Device Select」ウィンドウが表示されます。ご使用されますプリントサーバを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



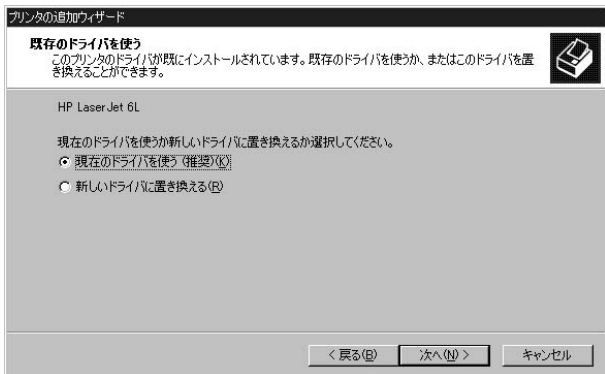
6. Device Nameにプリントサーバの名前が表示されたら、「Select Device Port」ボタンをクリックしてください。『Output Select』ウィンドウが表示されます。リスト上から使用するポートを選択して「OK」ボタンを押してください。『Configure Print Server』ウィンドウへ戻ります。Port Nameにポートの名前を変更できます。特に変更しない場合はそのまま「OK」ボタンを押してください。



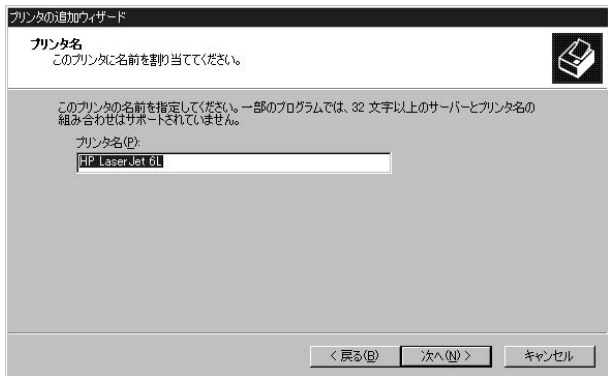
7. 「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。プリンタのマニュアルを参考にプリンタの製造元とプリンタモデルをリストから選択してください。



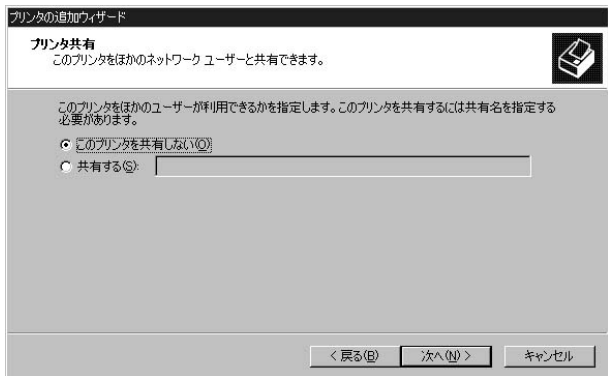
8. 「既存のドライバを使う」ウィンドウが表示されます。「現在のドライバを使う」項目をチェックしてください。チェックしたあとは[次へ]ボタンをクリックしてください。



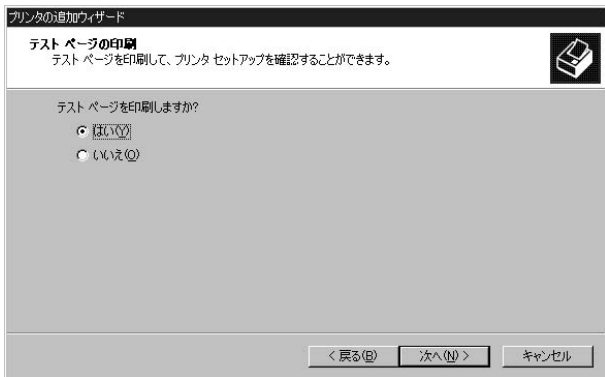
9. 「プリンタ名」ウインドウが表示されます。プリンタ名を変更しない場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。



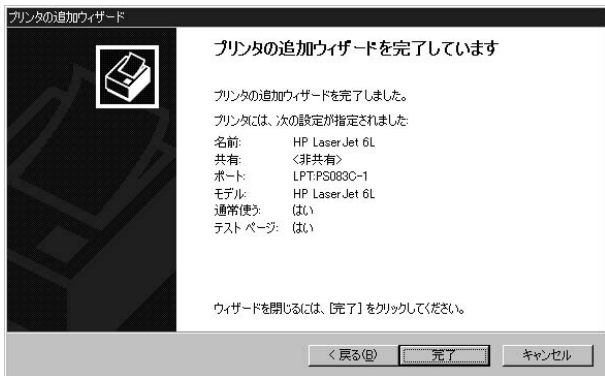
10. 「プリンタ共有」ウインドウが表示されます。共有しない場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。



11. 「テストページの印刷」ウィンドウが表示されます。「はい」または「いいえ」を選択してください。



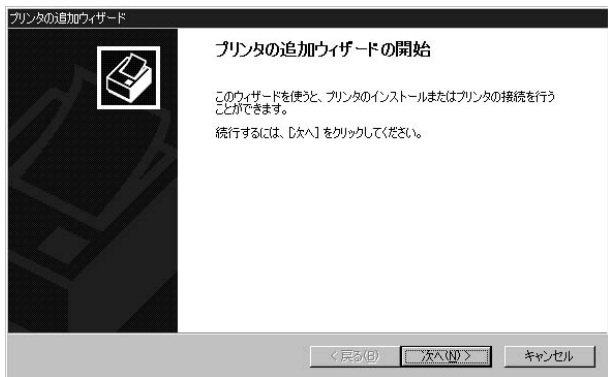
12. 「プリンタの追加ウィザードを完了しています」ウィンドウが表示されます。設定内容を確認してください。変更あるいは間違いがない場合は「完了」ボタンをクリックしてください。



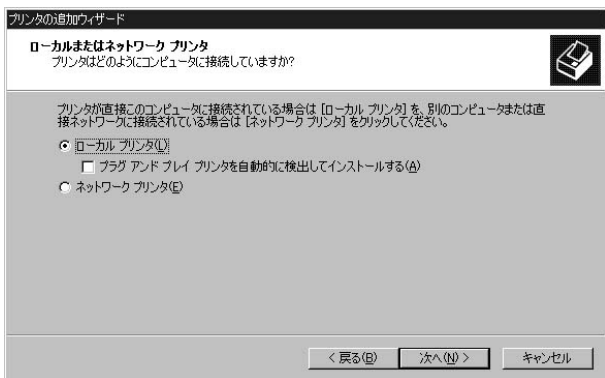
⚠ 注意

ここでは TCP/IP LPRポートの設定を説明します。LPRポートを使用して印刷をしない場合は「Windows 2000 プリンタの設定 (TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通)」を参考に設定してください。

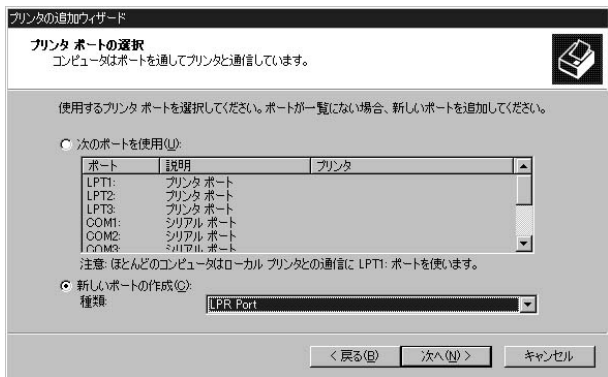
1. 「スタート」をクリックし、「設定」「プリンタ」を開いてください。
2. 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



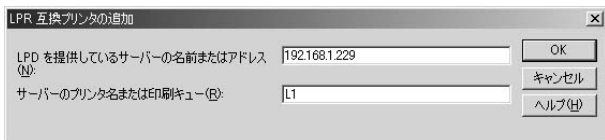
3. 「ローカルまたはネットワークプリンタ」ウィンドウが表示されますので「ローカルプリンタ」を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



4. 「プリンタポートの選択」の選択画面が表示されますので「新しいポートの作成」項目をチェックしてください。チェックしたあと「種類」リストから「LPR Port」を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。



5. 「LPR互換プリンタの追加」ウィンドウが表示されます。「lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス」にはMax300に設定しているIPアドレスを入力してください。「サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名」にはプリントサーバに接続しているプリンタのポート番号を“L1~L3”と入力してください。

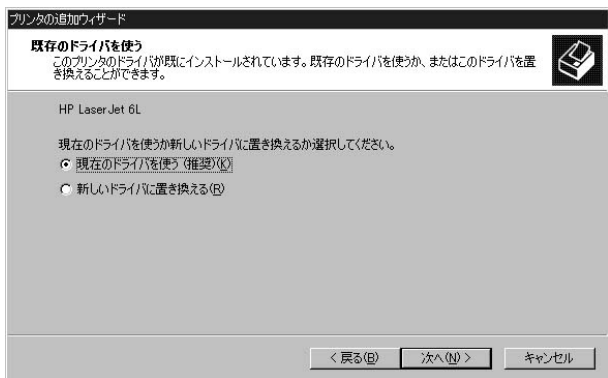


- 例：プリンタを Max300の平行ポート2に接続していた場合は、「L2（大文字で）」と入力して下さい。

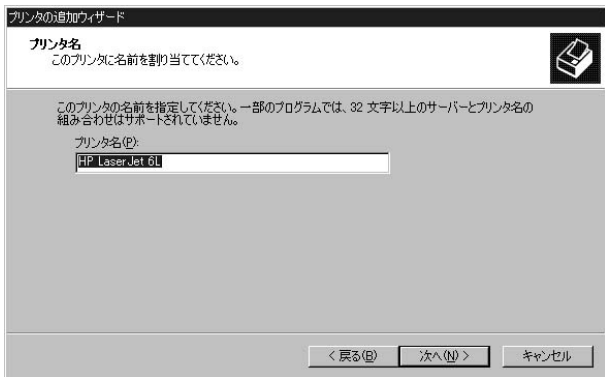
6. 「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。プリンタのマニュアルを参考にプリンタの製造元とプリンタモデルをリストから選択してください。



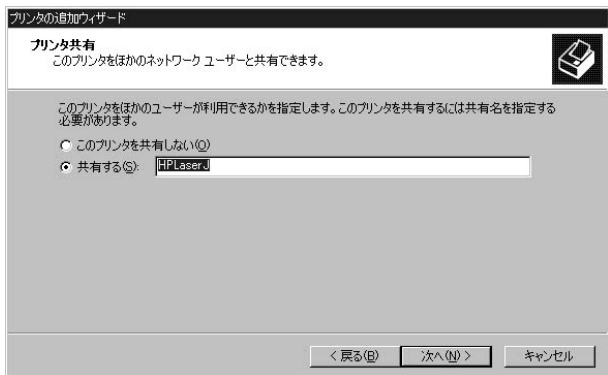
7. 「既存のドライバを使う」ウィンドウが表示されます。「現在のドライバを使う」項目をチェックしてください。チェックしたあとは[次へ]ボタンをクリックしてください。



8. 「プリンタ名」ウインドウが表示されます。プリンタ名を変更しない場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。



9. 「プリンタ共有」ウィンドウが表示されます。「共有する」を選択してください。共有名を変更しない場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。



10. 「場所とコメント」ウィンドウが表示されます。「場所 (L)」欄にはプリントサーバが設置されている場所を入力してください。「コメント (C)」欄にはコメントやプリンタやプリントサーバに関する説明を入力してください。「場所 (L)」と「コメント (C)」欄に特に入力する必要がない場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。

プリンタの追加ウィザード

場所とコメント
このプリンタの場所とコメントを指定できます。



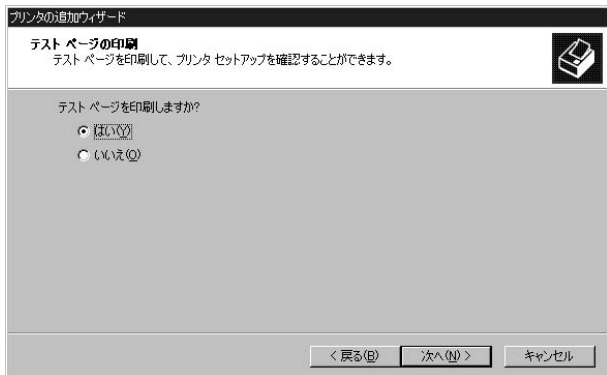
このプリンタの場所およびプリンタの機能を説明するコメントを提供することができます。この情報はユーザーに役立ちます。

場所(L):

コメント(C):

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

11. 「テストページの印刷」ウィンドウが表示されます。「はい」または「いいえ」を選択してください。



12. 「プリンタの追加ウィザードを完了しています」ウィンドウが表示されます。設定内容を確認してください。変更あるいは間違いない場合は「完了」ボタンをクリックしてください。



3. NetWare

Max300をNetWareプリントサーバとして使用する場合の設定方法について説明します。基本的に三つのモードを設定できます。

- a.AutoSetupでの設定
- b.ManualSetupでの設定
- c.クライアントPCの設定

上記の設定を行うにはWindowsベース「Max Manager」ユーティリティかDOSベースユーティリティ、「Quickset」(コマンドタイププログラム)か「PSConfig」(メニュータイププログラム)を使用して設定することもできます。

Max300はNetWare4.X/5.X のNDSモードとバインダリモードをサポートしています。NDSモードの場合バインダリモードに変更してから、プリントサーバとプリントキューの作成を行ってください。詳しくはNetWareのマニュアルをご参照ください。

3-a. AutoSetupでの設定

AutoSetupを使用すると簡単にプリントサーバの設定を行うことが可能です。以下の手順で設定を行ってください。

1. NetWare サーバに管理者権限(supervisorまたはadmin)でログインしてください。
2. 「スタート」をクリックして「プログラム」 「Max Manager」を選択して「Max Manager」を起動してください。
3. ネットワーク上のプリントサーバが検出されます。リスト上に表示されますので、設定したいプリントサーバを選択して「AutoSetup」ボタンをクリックしてください。
4. 「AutoSetup」ウィンドウが表示されます。「File Server Name」にネットワーク上のNetWareサーバが表示されますので、Max300の設定を行うNetWareサーバを選択してください。
5. 「Print Server Name」に設定した名前プリントサーバが作成されます。「Queue1 Name」に設定した名前プリントキューが作成されます。入力が終わったら[OK]ボタンを押してください。
6. 「設定内容の保存」の確認画面が表示されます。「はい」をクリックしてください。設定が実行されます。
7. 「Max Manager」の画面に戻ります。これでNetWareサーバに新しいプリントキューが作成されました。

※クライアントPCからの印刷設定は「4.3 クライアントPCの設定手順」をご覧ください。

3-b. Manual Setupでの設定

Manual Setup を使用してプリントサーバの設定を行うには、NetWare プリントサーバの設定に関する知識が必要です。以下の手順で設定を行ってください。

1. NetWare サーバに管理者権限(supervisor またはadmin)でログインして「PCONSOLE」を起動してください。
2. 「利用可能な項目」メニューが表示されます。メニューから「プリントキュー」を選択してください。
3. 「insert」キーを押すと「新しいプリントキュー名」のウインドウが表示されます。任意の名称を入力してください(この名前がネットワーク上に表示されます)。
4. 「ESC」キーを押して「利用可能な項目」メニューへ戻り「プリントサーバ」を選択してください。
5. 「insert」キーを押すと「新しいプリントサーバ名」のウインドウが表示されます。任意の名称を入力してください。
6. 「5」で追加したプリントサーバ名を選択して「Enter」キーを押してください。「プリントサーバ情報」が表示されます。
7. 「プリンタ」を選択して「Enter」キーを押してください。「定義済プリンタ」が表示されます。「insert」キーを押すとプリンタを尋ねてきます。プリンタがプリントサーバと接続しているポート番号を「lp1」と入力して、「Enter」キーを押してください。
8. 「7」で追加されたプリンタを選択して「Enter」キーを押してください。環境設定画面が表示されますので「プリントキュー割り当て」を選択して「Enter」キーを押してください。
9. 「Insert」キーを押すと「3」で作成したプリントキューが表示されますので。作成したプリントキューを選択して「Enter」キーを押してください。

10. 「優先順位」ウィンドウが表示されます。「Enter」キーを押してください。
11. 「ESC」キーを押すと環境設定の画面に戻ります。「F10」キーを押して設定内容を保存してください。
12. 「ESC」キーを押して「利用可能な項目」の画面へ戻ってください。
13. 「スタート」をクリックして「プログラム」「Max Manager」を選択して「Max Manager」を起動してください。
14. Max300を選択して「Manual Setup」をクリックしてください。
[Netware]をクリックして「Netware Mode」を「Enable」に設定して、「Print Server Name」を「3」で設定したプリントキュー名を設定して「OK」]ボタンをクリックしてください。

3-c. クライアントPCの設定

サーバ経由で印刷する場合、クライアントはMax300に対して印刷するのではなく、サーバに対して印刷するイメージになります。

1. 「スタート」をクリックして「設定」「プリンタ」を開いてください。
2. 「プリンタの追加」をダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウが表示されますので[次へ]をクリックしてください。
3. 接続先の確認画面が表示されます。「ネットワークプリンタ」の項目をチェックして「次へ」をクリックしてください。
4. ネットワークパスの設定画面が表示されます。「参照」ボタンをクリックしてください。
5. 「プリンタの参照」ウィンドウが表示されます。NetWare サーバマシンをダブルクリックしますと、その下に作成されたプリントキューが表示されます。作成したプリントキューをクリックして[OK]ボタンをクリックしてください。

6. ネットワークパスに先ほど表示された情報が表示されます。「次へ」をクリックしてください。
7. プリンタの選択画面が表示されます。プリンタのマニュアルを参考に、ご使用のプリンタの製造元とモデルをリストの中から選択して[次へ]ボタンをクリックしてください。

※プリンタドライバの追加手順については、ご使用のプリンタのマニュアルをご参照ください。

8. プリンタ名の設定ウィンドウが表示されます。ここに入力されている名前がWindows上で表示されます。特に変更しない場合はそのまま[次へ]をクリックしてください。
9. テスト印字を行うか確認されますので[はい]を選択して[完了]をクリックしてください。テストページが出力されれば、設定は完了です。

※印刷がうまく行かない場合

テスト印字がうまく行かない場合、「トラブルシューティング」を参考に設定を確認してください。

4. Mac OS編

AppleTalkネットワークプロトコルは、Mac OSバージョン7.x以上を使用したコンピュータ上で使用されます。AppleTalk は標準のイーサネットやファストイーサネットを使ったネットワーク通信で使用できます。

注意

Max300のネットワーク印刷は、PostScriptプリンタのみ対応可能です。PostScript以外のプリンタはMax300からの印刷には対応できません。

印刷できるデータはASCII形式のデータのみとなります。バイナリ形式のデータは正常に印刷できない場合がありますのでご注意ください。

<備考>

プリントサーバ上のポートに接続されているプリンタの「セレクト」名は、そのポート名と同じになります。AppleTalkでの印刷を行う場合は、AppleTalkを使用しているネットワーク全範囲内で、他のプリンタが同じポート名を使用していないことを確認してください。

プリントサーバをAppleTalk用にセットアップ

AppleTalkでの印刷用にプリントサーバをセットアップするには、以下の設定を行ってください。プリントサーバに接続されているPostScript プリンタを選択する方法は、使用中のプリンタドライバのバージョンにより若干異なります。以下の説明では、Laser Writer 8プリンタドライバの使用を想定しています。

プリントサーバに接続されているプリンタをMacOS ワークステーションのデフォルトプリンタに設定するには、以下の設定を行ってください。

1. 「Apple」メニューから「セレクト」を選択して、セレクトを開いてください。
2. 右側の画面で、LaserWriter 8 アイコンを選択してください。また、AppleTalk が「使用」に設定されていることを確認してください。
3. ネットワーク上のすべてのPostScript プリンタが「PostScript プリンタの選択」リストに表示されます。表示されている名前の最後がポート番号になります。ポート2 に接続されたプリンタに出力したい場合は、最後に「2」のついたプリンタ名をクリックして「設定」ボタンをクリックしてください。
4. このプリンタをまだデフォルトプリンタとして設定していない場合、コンピュータは「プリンタ記述」(PPD) ファイルを確認してきます。使用中のプリンタ用のプリンタ記述ファイルを選択してください。リスト上で使用中のプリンタが見つからない場合は、「一般設定を使用」をクリックして「一般設定」を使用してください。今後この設定を使用される場合は、「セレクト」ウィンドウ内の「再設定」ボタンをクリックしてください。
5. これで選択されたプリンタがコンピュータのデフォルトのプリンタになりました。

アドバンス設定

「ドライバ&ユーティリティCD」にはAppleTalk用ユーティリティ、PSToolが付属しています。SimpleTextを使用し、プリントサーバのConfigファイルを編集した後PSToolプログラムを起動してプリントサーバに設定します。

1. 「ドライバ&ユーティリティCD」の中にPSTool.exeとConfig.XXXファイルをハードディスクへコピーして下さい。

Configファイルは数種類あります。プリントサーバに合ったConfigファイルを使用してください。

config.3p 3ポートモデル専用(Max300)

2. 「セレクト」ウインドウを開きプリントサーバを選択してください。
3. Configファイルをダブルクリックして編集してください。

注意

ファイル内の“beginCMD”と“9002:”を消したり、編集しないでください。

4. ファイルをセーブします。
5. PSToolアイコンをダブルクリックして起動してください。
6. プリンタのサブメニューを選択して“Download Postscript File”を選んでください。パネルが開き、Configファイルのリストが表示されます。
7. 編集したConfigファイルを選択して、「Download」ボタンをクリックしてください。

ファイルの設定

Configファイルを編集する場合はパラメータのみを編集して下さい。
パラメータは：(セミコロン)の後です。

0001 Device Name : xxxxxxxx

デバイス名の編集パラメータです。編集する場合は19文字以上の名前は受け付けません。

3000 Apple Zone : *

アップルゾーンの編集パラメータです。

3001 Printer Type (P1) : LaserWriter

3002 Printer Type (P2) LaserWriter

3003 Printer Type (SP) : LaserWriter

3004 Printer Type (P3) LaserWriter

各ポートが使用するプリンタドライバのパラメータです。
P1,P2,P3 はパラレルポートを現しています。SP はシリアルポートを現しています。編集する場合は19文字以上の名前は受け付けません。

3101 AP_PCOMM1 : No

3102 AP_PCOMM2 : No

3103 AP_PCOMM3 : No

3104 AP_PCOMM4 : No

この項目はパラレルポートがASCII形式かバイナリー形式プロトコルを使用するかのパラメータです。設定には“NO”でASCII形式、“YES”でバイナリー形式になります。各行は以下のポートを現しています。

3101 AP_PCOMM1 : パラレルポート 1

3102 AP_PCOMM2 : パラレルポート 2

3103 AP_PCOMM3 : シリアルポート

3104 AP_PCOMM4 : パラレルポート 3

5. UNIX編

プリントサーバは各種UNIX, Linux 環境に対応しています。ここでは、SCO UNIX、SUN Solaris およびLinux でのインストレーションについて説明します。その他のUNIX 環境でのインストレーションについては各UNIX 用マニュアルのリモートプリンタの設定方法を参照してください。

SCO UNIX (OpenServer 5.0.x)

- 1.root 権限でログインしてください。
- 2.以下のコマンドを実行してください。

```
mkdev rlp
```

コマンドを入力したあと、リモートプリンタの構成に関する質問が表示されます。以下のように入力してください。

- a. Do you want to install or remove printing (i/r/q)?[q] :
(プリントのインストールしますか？削除しますか？)
“ i ”を入力してください。
- b. Do you wish to change the printer description file /etc/printcap
(y/n)?[n]
(プリンタの説明ファイルを変更しますか？)
“ y ”を入力してください。
- c. Enter information for remote printers or local printers accepting
remote printing requests.Please enter the printer name (q to
quit)
(プリンタを識別するための任意の名前を入力してください。)
例：Max300

- d. Is xxxx a remote printer or a local printe (r/l)
(xxxxはリモートプリンタですか？ローカルプリンタですか？)
“ r ”を入力してください。
- e. Please enter the name of the remote host that xxxx is attached to :
(xxxxが接続されているリモートホストの名前を入力してください。)
プリントサーバに割り当てたIP アドレスを入力してください。
もし、すでに/etc/hosts ファイルにプリントサーバのホスト名と
IP アドレスを登録してある場合はIP アドレスの代わりにホスト
名を入力してください。
- f. Printer xxxx is connected to host xxx.xxx.xxx.xxx.Is this correct?(y/n)
(プリンタxxxxはホストxxx.xxx.xxx.xxxに接続していますか？)
“ y ”を入力してください。
- g.この後、いくつかのメッセージが表示されます。“y ”または“n ”
を入力してください。もし意味がよく分からない場合は“n ”を
入力してください。
- h. Would you like this to be the system default printer?(y/n][n]
(これをデフォルトプリンタにしますか？)
デフォルトプリンタにしたい場合は“ y ”を入力してください。
- i. Do you want to install or remove printing (i/r/q)?[q]
(プリントのインストールしますか？削除しますか？)
“ q ”を入力してください。
- j. Do you want to start remote daemon now (y/n)
(remote daemonを開始しますか？)
“ y ”を入力してください。

3. インストレーションは終了です。
4. 印刷を行うにはlp またはlpr コマンドを実行します。プリンタ名には手順2-c で設定した名前を入力してください。

lp - d <プリンタ名> <ファイル名>

または

lpr - d <プリンタ名> <ファイル名>

例： /etc/hosts ファイルを印刷する場合

lp - d Max300 /etc/hosts

または

lpr - d Max300 /etc/hosts

注意

一部の双方向通信対応のプリンタでは正常に印刷できない場合があります。この場合はプリンタの双方向通信が無効になるように設定してください。設定方法についてはご使用のプリンタのマニュアルを参照してください。対応プリンタについての情報は弊社ホームページ <http://www.planex.co.jp/> をご覧ください。

SUN Solaris 2.x

- 1.root 権限でログインしてください。
- 2.lpsystem コマンドを実行します。

```
lpsystem - tbsd <IP アドレスまたはホスト名>  
例 : lpsystem - tbsd 192.72.214.103
```

- 3.lpadmin コマンドを実行します。プリンタ名には任意の名前を入力してください。

```
lpadmin -p <プリンタ名> -s <IP アドレスまたはホスト名>  
例 : lpadmin - pMax300 - s192.72.214.103
```

- 4.プリンタを使用可能な状態にします。プリンタ名には手順3で入力した名前を使用してください。

```
accept <プリンタ名>  
enable <プリンタ名>  
例 : accept Max300  
      enable Max300
```

- 5.インストレーションは終了です。
- 6.印刷を行うにはlp コマンドを実行します。プリンタ名には手順3で設定した名前を入力してください。

```
lp - d <プリンタ名> <ファイル名>  
例 : /etc/hosts ファイルを印刷する場合  
      lp - d Max300 /etc/hosts
```


Linux

プリントサーバーをLinux環境で使用するには、printtoolコマンドでの設定が必要になります。

1. #printtool [enter]
2. 「RHS Linux Print System Manager」が起動します。
3. [ADD]ボタンをクリックします。
4. Remort Unix(lpd)Queueにチェックを入れて下さい。
5. 後は、各プリンタに対応したプリンタドライバを組込んで下さい。
6. 設定終了後、印刷を行うには、lprコマンドを実行します。
7. lpr <ファイル名>

各ディストリビューションに関する設定の詳細は、弊社ホームページをご参照下さい。

注意

一部の双方向通信対応のプリンタでは正常に印刷できない場合があります。この場合はプリンタの双方向通信が無効になるように設定してください。設定方法についてはご使用のプリンタのマニュアルを参照してください。対応プリンタについての情報は弊社ホームページ(<http://www.planex.co.jp/>)をご覧ください。

Maxの追加機能編

本 製品、Max300は、通常機能の他にいくつかの追加機能が装備されています。本章では、追加された機能の概略について説明します。

1. 各機能について

IPP(Internet Printing Protocol)

本製品はIPPをサポートしています。IPPはインターネットを経由したプリントを実行するための最新のプロトコルです。

WindowsPCからプリンタへのインターネット経由で出力することができ、イントラ・インターネット上のプリンタでジョブを処理することによりネットワーク上のプリンタ管理を容易にします。

インターネットプリンティングにはさまざまな活用法がありますがFAXの代用としても注目されています。例えば地方、海外支店のプリンタをFAXとして兼用または代用することにより、より鮮明な文書や画像を送ることが出来るだけでなく、インターネットを経由していることで大幅な通信費の削減を可能にします。

IPPは現時点ではWindows 2000/NTがインストールされたOSを必要としますが、Max300ではメールの送受信機能を内蔵しているため、独自のポートドライバを使用してWindows 95/98/98 SE/MEからのインターネットプリンティングを実現します。

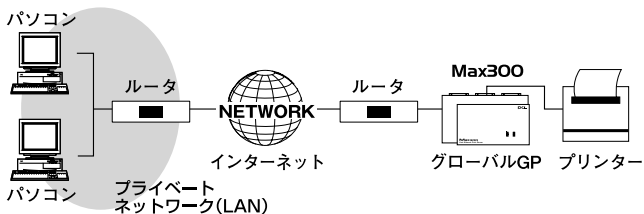


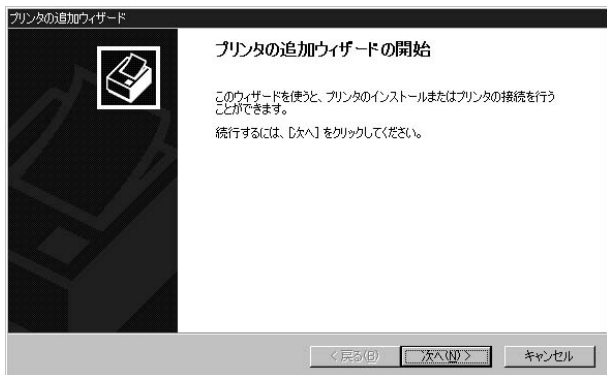
図5-1 Max300を使ったインターネット経由での出力

▲ 注意

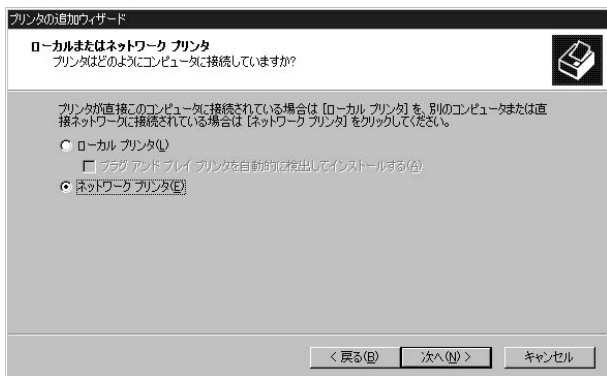
Firewallが設定されているネットワークは受信されてくるIPPプリントリクエストの“アクセス許可”の設定をしてください。

1. 「スタート」をクリックし、「設定」「プリンタ」を開いてください。

2. 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。「プリンタの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。



3. 「ローカルまたはネットワークプリンタ」ウィンドウが表示されますので「ネットワークプリンタ」を選択して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



4. 「プリンタの検索」ウインドウが表示されます。「インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続」の項目をチェックしてください。チェックしたあと「URL:」の項目にMax300に設定したIPアドレスとプリンタに接続してあるプリントサーバのポート番号を入力してください。入力したあとは「次へ」ボタンをクリックしてください。

▲ 注意

「URL:」の項目を入力するときは「`http://xxx.xxx.xxx.xxx : 631/ipp/P1`」と入力して下さい。

ポート番号を入力するときは“`P1,P2,P3`”と入力してください。

プリンタの追加ウィザード

プリンタの検索
どのようにプリンタを検索しますか?

プリンタ名がわからない場合は、ネットワークを参照してください。

次のオプションから選択してください。

プリンタ名を入力するか [次へ] をクリックしてプリンタを参照します (E)
名前:

インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します (C)
URL:

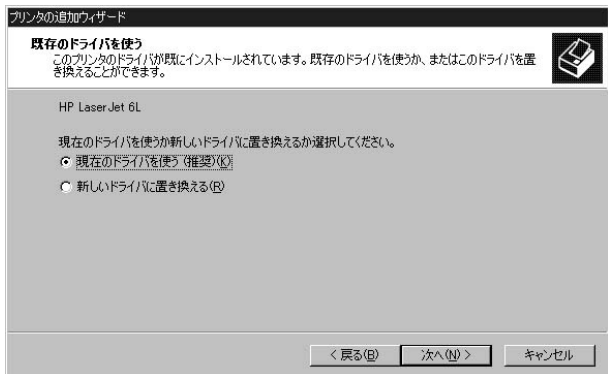
< 戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

5. プリントサーバと接続してHPプリンタを検出します。

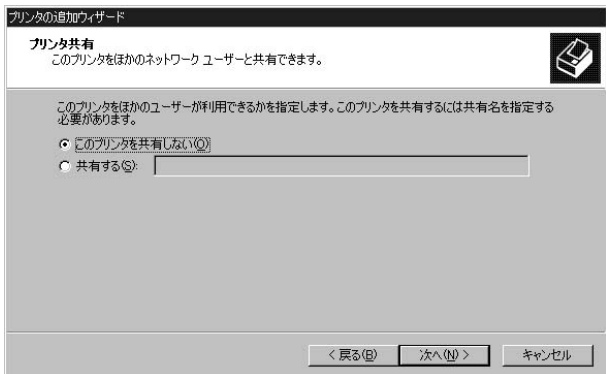
6. 「プリンタの追加ウィザード」ウインドウが表示されます。プリンタのマニュアルを参考にプリンタの製造元とプリンタモデルをリストから選択してください。



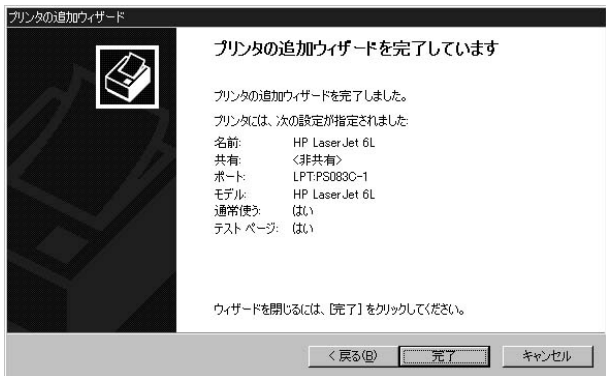
7. 「既存のドライバを使う」ウインドウが表示されます。「現在のドライバを使う」項目をチェックしてください。チェックしたあとは[次へ]ボタンをクリックしてください。



8. 「プリンタ共有」ウィンドウが表示されます。共有しない場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。



9. 「プリンタの追加ウィザードを完了しています」ウィンドウが表示されます。設定内容を確認してください。変更あるいは間違いない場合は「完了」ボタンをクリックしてください。



メールの送受信機能

本製品はメールの送受信機能を内蔵しています。メールの送受信機能を使用することでWindows 95/98/98 SE/MeなどのIPPサービスを持たないOSを使用してのインターネットを経由したプリントが可能になります。

クライアントコンピュータにメールの送信が可能なポートドライバをインストールして、出力先のポートに出力したいプリンタドライバのメールアドレスを指定することで、通常のアプリケーションからの出力と同様の手順でインターネットプリンティングを実行することが出来ます。またプリントを完了すると送信者のメールアドレスに対してプリントの終了を通知することが可能なため、リモートで出力状況を確認することも可能です。



図5-2 メール送受信機能を使用したインターネットプリンティング

メールを使用したプリンティングの設定概略

以下に設定手順の概略を説明します。

プリントサーバにメールを送受信させるためにメールのアカウントを設定します。

アカウントの設定はユーティリティ、Webブラウザ経由で設定可能です。

プリンティングデータは実際にはメールの添付ファイルとして送信されます。プリンタドライバから直接メールを送信させるためのポートドライバをインストールして任意のプリンタドライバの出力先のポートとして指定します。

インストールしたポートドライバにプリントサーバに設定されているメールアドレスを指定します。

通常のアプリケーションからの出力手順と同様にプリントを実行してください。プリントサーバにプリントの完了を通知する設定がされている場合はプリント完了後、送信者のメールアドレスに通知されます。

プリントサーバの設定

メールのアカウントの設定はユーティリティまたはWebブラウザ経由で行うことができます。

ユーティリティからの設定

ユーティリティを起動したらプリントサーバをクリックしてハイライトさせファイルメニューの“ Configuration ”から“ TCP/IP ”を選択するか“ TCP/IP ”アイコンをクリックしてください。以下のウィンドウが表示されます。

“ Internet Mail Printing Configuration ”各項目に必要なメールサーバのIPアドレスまたはメールアカウントを入力してください。

Selected Device: SC417204

Dynamic IP Address
 DHCP Bootp RARP

Fixed IP Address

IP Address: 192 168 1 228
Gateway Address: 0 0 0 0
Subnet Mask: 255 255 255 0

TCP session retry interval: 2 (sec.)
TCP session retry count: 254

Set to Default
Save to Device
Cancel
Help

Internet Mail Printing Configuration

Mail Server IP Address: 0 0 0 0

Mail Account: _____
Password: ***** Confirm Password: _____

Check mail interval: 0 : 1 (hour : min.)
Redirect Mail Account: _____

Default Printer Number: P1
 Print every email Banner Printing Activate Response mail

Printer Model string: _____

< Mail Server IP Address >

メールサーバのIPアドレスを入力してください。

< Mail Account >

メールアカウントを入力してください。

< Password >

入力したメールアドレスに対するパスワードを入力してください。

< Confirm Password >

確認のためパスワードを再入力してください。

< Check Mail interval >

メールサーバへの受信確認の時間間隔を指定します。

< Redirect Mail Account >

プリント不可能なメールを受信した場合の通知先のメールアドレスを入力してください。

< Default Printer Number >

プリントサーバ上の出力先のポートまたは理論ポートを指定してください。

< Options >

以下の項目から設定したい項目のチェックボックスをチェックしてください。

< Print every E-Mail >

受信した全てのメールをプリントします。

< Banner Printing >

受信したデータをプリントする前にそのデータの送信アドレス、受信アドレス、内容、日時をプリントします。

< Activate Response mail >

プリントが完了したことを送信者にメールで通知します。

< Printer Model string >

19文字以内で任意のプリンタ名を入力してください。

Webブラウザからの設定

Webブラウザを使用してプリントサーバにログインしたら上段のリストから“Internet Printing”をクリックしてください。以下のウィンドウが表示されます。

各項目に必要なメールサーバのIPアドレスまたはメールアドレスを入力してください。設定した内容を有効にするには必ず“SAVE”ボタンをクリックしてください。

インターネット プリント

メール サーバ

メール サーバ IP アドレス	<input type="text" value="192"/> <input type="text" value="168"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="1"/>
アカウント名	<input type="text"/>
アカウント パスワード	<input type="text"/>
確認パスワード	<input type="text"/>
メールチェック:	<input type="text"/> : <input type="text"/> (時:分)
プリント不可能なメール:	<input type="text"/>

プリンタ

プリンタモデル	<input type="text"/>
プリンタポート	<input type="text" value="パラレル 1"/>
オプション	<input type="checkbox"/> 全メールをプリント <input type="checkbox"/> プリント バナー ページ <input type="checkbox"/> プリント後のメール送信

メール サーバ

メールサーバに対するアカウント及びパスワード等の設定を行います。

<メール サーバ IP アドレス>

メールサーバのIPアドレスを入力してください。

<アカウント名>

メールアカウントを入力してください。

<アカウント パスワード>

入力したメールアカウントに対するパスワードを入力してください。

<確認 パスワード>

確認のためパスワードを再入力してください。

<メールチェック>

メールサーバへの受信確認の時間間隔を指定します。

<プリント不可能なメール>

プリント不可能なメールを受信した場合の通知先のメールアドレスを入力してください。

プリンタ

プリンタのタイプまたはポートの指定及びオプションを設定します。

<プリンタモデル>

19文字以内で任意のプリンタ名を入力してください。

<プリンタポート>

プリントサーバ上の出力先のポートまたは理論ポートを指定してください。

<オプション>

以下の項目から設定したい項目のチェックボックスをチェックしてください。

<全メールをプリント>

受信した全てのメールをプリントします。

<プリントバナーページ>

受信したデータをプリントする前にそのデータの送信アドレス、受信アドレス、内容、日時をプリントします。

<プリント後のメール送信>

プリントが完了したことを送信者にメールで通知します。

<セーブボタン>

設定した内容をメモリに保存します。

<キャンセルボタン>

設定した内容をキャンセルします。

プリンタポートのインストール

プリントデータを直接メールに添付して送信するためのドライバをインストールします。

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットしてください。
2. タスクバーの“スタート”ボタンをクリックして“ファイル名を指定して実行”を選択してください。ファイル名を指定するダイアログが表示されたらD: ¥ Driver ¥ Ipd ¥ setup.exeと入力して“OK”ボタンをクリックしてください。



3. “ Welcome ”ウィンドウが表示されたら “ Next ” ボタンをクリックしてください。
ファイルのコピーが開始されます。



4.“ Internet Printing Port Driver Configuration ”設定ウィンドウが表示されます。

InterNet Printing Port Driver Configuration (ver 1.1)

Internet Printing Port Name : WAN

Remote Printer

E-mail address
MAX300@planex.co.jp

Your E-mail information

Mail Server Name or IP Address
192.168.1.222

Your Internet E-mail address (e.g. username@company.com)
test@planex.co.jp

Retry Interval: 30 Sec.

Reply Notification E-mail

OK
Cancel
Help

< Internet Printing Port Name >

適当なプリンタポート名を指定してください。ここで設定されたポート名はプリンタドライバの印刷先のポートで選択します。

< E-mail address >

出力したいプリンタサーバのメールアドレスを入力してください。

< Mail Server Name or IP Address >

出力する側の使用するメールサーバの名称またはIPアドレスを入力してください。

< Your Internet E-mail address >

出力する側のメールアドレスを入力してください。

< Retry Interval >

再送する場合の時間間隔を秒単位で入力してください。

< Reply Notification E-mail >

チェックボックスをチェックした場合、出力したデータのプリント処理が開始されるとメールで通知されます。

全ての設定が完了したら“OK”ボタンをクリックしてください。

5.“Setup Complete”ウィンドウが表示されたら“Finish”ボタンをクリックしてください。これでインストールは完了です。



プリンタドライバの設定

インストールされたポートをプリンタドライバに使用するポートとして登録します。

1. タスクバーの“ スタート ”ボタンをクリックして“ 設定 ”から“ プリンタフォルダ ”を選択してください。
2. 使用するプリンタドライバをクリックしてハイライトさせ右クリックで表示されるリストからプロパティを選択してください。
3. プリンタのプロパティが表示されたら“ 詳細 ”タブをクリックしてください。
4. “ 印刷先のポート ”リストボックスから“ Internet Printing Port Name ”で登録したポート名を選択して“ 更新 ”ボタンをクリックしてください。



これで全のインストールは完了です。アプリケーションから通常のプリントと同様にインターネットを経由したプリントが実行できます。

プリンタポートの設定

メールサーバ等の設定を再設定する場合にはプロパティの詳細から“ポートの設定”ボタンをクリックしてください。「2-c.プリンタポートのインストール」と同様の設定ウィンドウが表示されます。設定が完了したらOKボタンをクリックしてウィンドウを終了させた後、必ずプロパティの“更新”ボタンをクリックしてください。

プリンタポートの削除

登録されたプリンターポートを削除するにはプロパティの詳細で“印刷先のポート”に一旦他のポート(例:LPT1)を選択して“更新”ボタンをクリックした後、“ポートの削除”ボタンをクリックしてください。プリンタポートの一覧が表示されたら削除したいポートをクリックしてハイライトさせ“OK”ボタンをクリックしてください。

HP Web JetAdmin

HP Web JetAdminはウェブブラウザを使用してプリントサーバと接続されているプリント機器のステータス、修正、管理することができます。

HP Web JetAdminはWindows NT/2000、HP-UX、Solaris、Red Hat Linux、SuSE LinuxのOSで動作し、IE 4.0かNetscape 4.0以上のブラウザバージョンを使用してください。HP Web JetAdmin製品情報はHP Customer Care Online(<http://www.hp.com/go/webjetadmin>.)へアクセスしてください。

注意

ホストサーバにHP Web JetAdminをインストールしますと、HP Web JetAdminのホストへブラウズしているクライアントはアクセスできます。

HP Web Jetadminのインストール

HP Web JetAdminをインストールする前に、管理者権限があるか、あるいはルートでインストールが行えるか確認してください。

1. HP Customer Care Online([http://www.hp.com/go/webjetadmin.](http://www.hp.com/go/webjetadmin))
へアクセスし、インストーションファイルをダウンロードしてください。
2. Windows NT/2000にインストールする場合は管理者権限でUNIX
の場合はルートでログインし、インストールを行ってください。

注意

ダウンロード及びインストールの手順についてはウェブ画面あるいはマニュアル(.pdf
ファイル)をお読みください。

DHCP

Max300はDHCPをサポートしています。DHCPサーバから与えられたIPアドレスやTCP/IPに関する設定を自動的設定されます。Max300はDHCPに対応していますが、“固定IPアドレス”を設定して使用することをおすすめします。デフォルト設定ではMax300のDHCP機能は「無効」です。

トラブルシューティング

Q. どんなプリンタで印刷できるのでしょうか。

A. プリントサーバはプリンタからの信号をネットワークに返すことができません。従って「双方向パラレルポート」で動作させることが必須なプリンタ(「Windows Printing System」仕様のプリンタ等)の場合、プリンタからの信号が返ってこないためにプリンタドライバは「このコンピュータにはプリンタが接続されていない」と判断するため印刷することができません。一部のメーカーのようにオリジナルのスプールマネージャーを使うようなプリンタも使用できないことがあります。またインクジェットプリンタのインク残量を見るような機能にも対応することができません。

印刷できないプリンタ:

canon LBP-220シリーズ、EPSON LP-700W、NEC MultiWriter1000LW等
動作確認済みのプリンター一覧は、弊社ホームページの「製品情報」からご覧いただけます。

Q. EPSONのMJ/PMシリーズのプリンタで印刷ができない。

A. 以下の手順で設定を変更してください。

1. [スタート] [プログラム] [EPSON] [スプールマネージャー]を開いてください。
2. 使用しているプリンタを選択して[プリントキュー] [キューセットアップ]を開いてください。
3. 「全体」の「プリントマネージャーを使用する」をチェックして [OK] ボタンをクリックしてください。以上で印刷できるようになります。

Q. HEWLETT PACKARDのDeskJetシリーズのプリンタで印刷ができない。

A. 双方向通信機能を無効にしてみてください。双方向通信機能の設定方法につきましては、HEWLETT PACKARD社のWebページ「テクニカルサポート」のページをご参照ください。

Q. Max Managerを起動したがプリントサーバが検出されない。

A. Max ManagerをインストールしたあとはIPX/SPXプロトコルを最初に検出するためプリントサーバがリストに現れない可能性があります。正しく検出されていない場合はMax Managerユーティリティの「InitDevice」を選択し、「Connected Protocol」を選択してください。「Connected Protocol」ウィンドウが開きませんので、ご使用されていますプロトコルを選択して「OK」ボタンを押してください。プリントサーバは新しいプロトコルで再検出します。

Q. arpコマンドを実行してpingが通るようになったが、再起動したら通らなくなった。

A. arpコマンドで設定したIPアドレスはあくまで一時的な物です。Max300にIPアドレスを設定しないと、再起動時にエントリは消えてしまいます。必ず「Max Manager」や「Print Server Driver」ブラウザからMax300にIPアドレスを設定してください。

Q. 印刷がうまく行かない。

A. 以下の手順で双方向機能が有効になっていないか確認してください。

1. 「設定」「プリンタ」を開いてください。
2. プリンタドライバのアイコンにカーソルを合わせマウスの右ボタンをクリックしてください。メニューが表示されますので「プロパティ」を開いてください。
3. 「詳細」タブをクリックして「スプールの設定」ボタンをクリックしてください。
4. 「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」がチェックされていたら「サポートしない」に変更してください。

Q .他のコンピュータが印刷中に印刷を実行するとエラーになってしまう。

A.Windows NTサーバやNetWareサーバを経由しないで、直接プリントサーバに印刷データを送る環境で設定をしている時に発生します。回避するためにはWindows NTかNetWareサーバをネットワーク上に設置して、印刷データをサーバにスプールする（サーバ上に一旦データを貯めておく）ような環境にする必要があります。

Q.TCP/IPで設定しようとしているがMax300が見えてこない

A.IPアドレスは正しく設定されていますでしょうか。マニュアルに記載されているIPアドレスはあくまで例ですので、そのままマニュアル通りのIPアドレスを入力しても認識されません。IPアドレスの設定については「Max Manager」や「Print Server Driver」、ブラウザからMax300にIPアドレスを設定してください。TCP/IPネットワークの場合、全てのコンピュータとMax300にIPアドレスを割り当てる必要があります。

仕様

< アクセス方法 >

CSMA/CD 10/100Mbps

< 規格 >

IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100Base-TX

< 転送速度 >

10Mbps、100Mbps

< 対応メディア >

UTP/STPケーブル

10Mbps : カテゴリ3以上

100Mbps : カテゴリ5

< ネットワークポート >

10/100Mbps RJ-45ポート × 1ポート

< パラレルポート >

25ピン セントロニクスパラレルポート × 3ポート

< LED表示 >

Link、Err、100、10

< 入力電源 >

DC12V、800mA ~ 1000mA

< 消費電力 >

最大9.6W

< 動作温度 >

0 ~ 40

< 動作湿度 >

35 ~ 85% (結露しないこと)

< 寸法 (W × D × H) >

133 × 233 × 28mm

< 重量 >

390g

< EMI >

VCCI ClassB, FCC Class B, CE

付
録
B

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。

<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

グリーンマークについて



本製品は、グリーンマーク事業に協賛し、パッケージに再生紙を利用しています。グリーンマーク事業とは、紙のリサイクルを推進することを目的とした事業ですが、併せて環境の緑化も目的としています。パッケージ裏面にあるグリーンマークを、学校あるいは町内会、自治体単位で集め、財団法人古紙再生促進センターに送っていただくと、苗木、またはセンターオリジナルのノートが送られます。詳しくは、財団法人古紙再生促進センター（電話 03-3541-9171）までお問い合わせ下さい。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

質問表

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行

FAX : 03-5614-1018

送信日 : _____

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	FAST ETHERNET PRINT SERVER
型番 Product No.	Max300
製造番号 Serial No.	

INTERFACE CARD

メーカー	
型番	

ソフトウェア

ネットワークOS	バージョン
OS	バージョン

ご使用のプリンタについて

メーカー	バージョン
型番	バージョン

保証規定

ブラネックスコミュニケーションズ(株)は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。

本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

初期不良交換

保障期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。

ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

初期不良・修理の手順(センドバック方式)

弊社は、センドバック方式による初期不良・修理対応を行っております。

1. 本製品に故障・不具合が発生した場合、下記サポートセンターまでご連絡ください。受付番号を発行いたします。
ブラネックスコミュニケーションズ(株)
サポートセンター フリーダイヤル0120-415977
2. 受付番号を明記の上、本製品及び保証書を弊社リペアセンターまでお送りください。
(誠に勝手ながら、修理品発送の際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。)
リペアセンター電話番号: 03-5963-7432
3. 当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

免責事項

- ・お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- ・本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

保証書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1年間
製品名 Product Name	FAST ETHERNET PRINT SERVER
型番 Product No.	Max300
製造番号 Serial No.	

フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
お名前	
フリガナ	
ご住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都府 道県
TEL	— — 内線
FAX	— —
メールアドレス	

ご購入 代理店名 所在地	
--------------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。
なお弊社ホームページにてユーザー登録をおこなって
いただいていない場合には、
一切のサポートを受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

受付時間：月曜日～金曜日(祭日は除く)

10:00～12:00・13:00～17:00

FAX：03-5614-1018

ユーザー登録：<http://www.planex.co.jp/user/user.htm>

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記Webサイトで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL:info-planex@planex.co.jp

No.PMN-01-03-JF-Max300

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

Max100/300のマニュアル訂正文

PCI製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品のユーザーズマニュアルに誤りがございましたので訂正させていただきます。

<訂正内容>

「第4章 OS別インストールの概要」内で、“TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI共通”と記載されている箇所は全て、“TCP/IP、NetBEUI共通”となります。

IPX/SPXプロトコルでご使用になる場合は、「第4章 3.Netware」を参照してください。

<対象となるページ>

Max100 : P61, P84, P109, P110

Max300 : P65, P88, P113, P114

今後とも、PCI製品をご愛顧いただけますよう、お願い申し上げます。



Max100
Max300

補足マニュアル

FAST ETHERNET PRINT SERVER

PCI製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品に付属のユーティリティ・ドライバCD-ROMをご使用になる場合には、こちらの補足マニュアルをご参照ください。

ユーティリティ・ドライバCD-ROMをCDドライブにセットしてください。以下の画面が表示されます。表示されない場合は、「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックして下さい。



「Print Server Installation」ウインドウで「Setup Wizard」を選択しますと、ネットワークと接続している本製品の設定を行うことができます。

「Print Server Installation」ウインドウで「Installation」を選択しますと、本製品に必要なドライバやユーティリティのインストールを行うことができます。

「Setup Wizard」

本製品の基本設定(プリントサーバの名前変更、IPアドレスの設定)を行うことができます。「Setup Wizard」アイコンをクリックしてください。

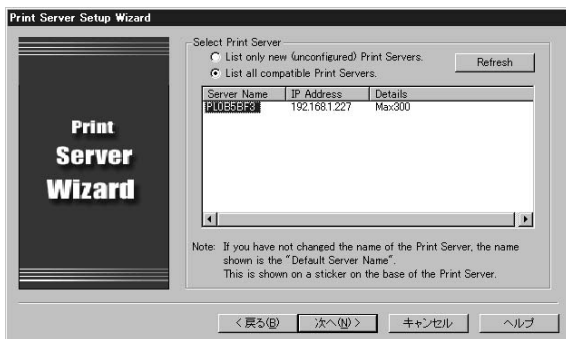
▲ 注意

AppleTalk及びUnixの設定はここでは行えません。

1. 「Print Server Setup Wizard」ウインドウが表示されます。本製品の設定を行っているコンピュータにインストールされているプロトコルが表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。
2. 「Select Print Server」ウインドウが表示されます。一度も設定を行っていない場合は「List only new (unconfigured) Print Servers.」を選択してください。既に設定を行った場合は「List all compatible Print Servers.」を選択してください。本製品の名前や情報が表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。

注意

本製品の名前が変更されていない場合、「Server Name」には本製品の「Default Server Name」が表示されます。「Default Server Name」は本製品の裏に貼られているラベルに記入されています。



3. 「Print Server : *****」ウィンドウが表示されます。本製品の名前、コメント、ワークグループ名、パラレルポートに接続されているプリンタの名前の設定を行うことができます。設定が終了しましたら「次へ」ボタンをクリックしてください。



4. 「NetWare Setup」ウィンドウが表示されます。NetWare Modeの設定を行うことができます。NetWareを使用しない場合は「None」を選択してください。「次へ」ボタンをクリックしてください。
5. 「TCP/IP」ウィンドウが表示されます。DHCPサーバから取得する場合は「Obtain IP Address automatically」を選択してください。固定IPアドレスを設定する場合は「Fixed IP Address」を選択し、IPアドレスやサブネットマスク、ゲートウェイIPアドレスを設定してください。設定が終了しましたら「次へ」ボタンをクリックしてください。
6. 「Configuration Completed」ウィンドウが表示されます。本製品の基本設定が完了しました。「完了」ボタンをクリックしてください。本製品を使用する場合は「Print Server Driver」をインストールしてください。

「Installation」

本製品に必要なドライバやユーティリティのインストールを行うことができます。「Installation」のアイコンをクリックしてください。

1. 「Welcome」ウインドウが表示されます。「Next」ボタンをクリックしてください。
2. 「Setup Type」ウインドウが表示されます。セットアップタイプを選択してください。



「User」：プリントサーバからプリントを行う時に必要なドライバをインストールします。

「Administrator」：本製品の設定及び管理を行うために必要なユーティリティ「Max Manager」をインストールします。

「IPP(Internet Printing Protocol)Client」：Internet Printingに必要なドライバをインストールします。インストールするタイプを選択しましたら、「Next」をクリックしてください。

3. 「Choose Destination Location」ウインドウが表示されます。ドライバやユーティリティのインストール先が表示されます。変更しない場合は「Next」ボタンをクリックしてください。

▲ 注意

「IPP(Internet Printing Protocol)Client」を選択した場合は、IPPドライバをコンピュータにインストールするか、Zipファイル形式でインストールするか選択します。特にZipファイルでインストールする必要がない場合は「Install IPP Client Driver on this PC」を選択してください。

4. 「Select Program Folder」ウインドウが表示されます。プログラムフォルダ名を変更しない場合は「Next」ボタンをクリックしてください。ドライバやユーティリティのインストールが開始されます。
5. 「Setup Complete」ウインドウが表示されます。「Finish」ボタンをクリックしてください。

今後ともPCI製品をご愛顧いただけますよう、重ねてお願い申し上げます。



Max 100/Max300

Windows XPでのプリンタの設定 (TCP/IP,IPX/SPX共通)

SS Manual No.PHM-01-12-04-JF-MAX_WIN XP Version 1.0

このたびは、PCI製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品をWindows XPでご使用の際には以下の手順でプリンタの設定を行ってください。

Windows XPは、NetBEUIをサポートしておりません。予めご了承くださいませ。

プリンタの設定を行う前にCDドライブに「ドライバ&ユーティリティCD」を入れ、「PrintServerDriver」をインストールしてください。

- 1.本製品をプリンタにセットし、ネットワークに接続してください。本製品の電源を入れてください。
- 2.「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」→「プリンタとその他のハードウェア」を開いてください。
- 3.「作業を選びます」項目の「プリンタを追加する」の名前をクリックしてください。
- 4.「プリンタの追加ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 5.「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」ウィンドウが表示されます。「このコンピュータに接続されて.....」項目を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 6.「プリンタポートの選択」ウィンドウが表示されます。「新しいポートの作成」項目を選択してください。「ポートの種類」リストから「PrintServer」を選択して「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 7.「ConfigurePrintServer」ウィンドウが表示されます。「Browse」ボタンをクリックしてください。ネットワーク上で使用可能なプリントサーバが表示され、「DeviceSelect」ウィンドウが表示されます。ご使用になるプリントサーバを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 8.「DeviceName」にプリントサーバの名前が表示されたら、「SelectDevicePort」ボタンをクリックしてください。「OutputSelect」ウィンドウが表示されます。リスト上から使用するポートを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。「ConfigurePrintServer」ウィンドウへ戻ります。「PortName」にポートの名前を変更できます。特に変更しない場合は「OK」ボタンを押してください。
- 9.「プリンタソフトウェアのインストール」ウィンドウが表示されます。プリンタのマニュアルを参考にプリンタの製造元とプリンタモデルをリストから選択してください。
- 10.「既存のドライバを使う」ウィンドウが表示されます。「現在のドライバを使う」項目にチェックしてください。「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 11.「プリンタ名」ウィンドウが表示されます。プリンタ名を変更しない場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 12.「プリンタ共有」ウィンドウが表示されます。共有しない場合はそのまま「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 13.「テストページの印刷」ウィンドウが表示されます。「はい」または「いいえ」を選択してください。
- 14.「プリンタの追加ウィザードを完了」ウィンドウが表示されます。設定内容を確認してください。変更あるいは間違いがない場合は「完了」ボタンをクリックしてください。

設定後、「プリンタとFAX」ウィンドウにプリンタアイコンが作成されているか確認してください。

今後ともPCI製品をご愛顧いただけますよう、お願い申し上げます。

ブラネックスコミュニケーションズ株式会社